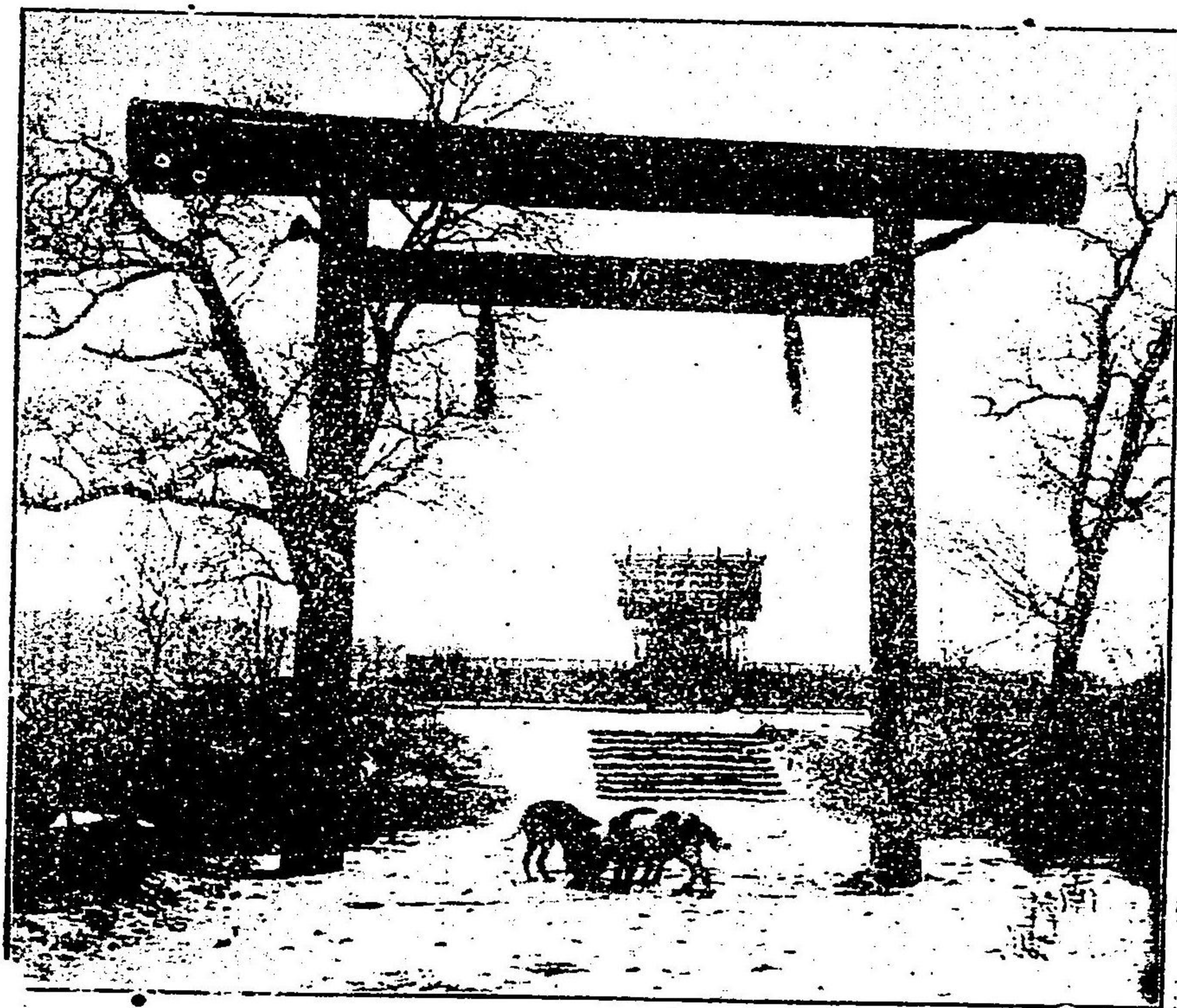


827
859

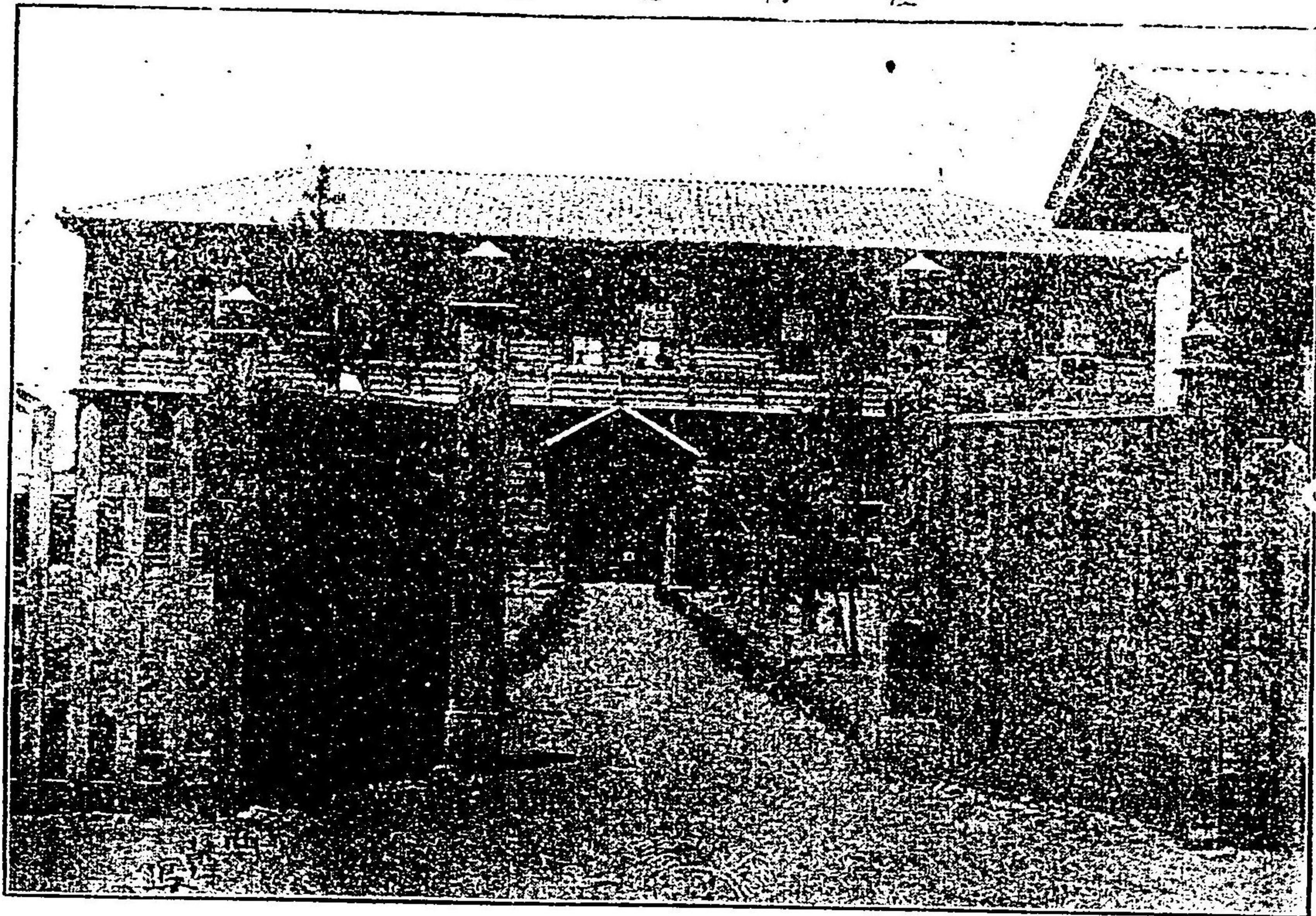


重慶市地圖

大邱遠城公園圖

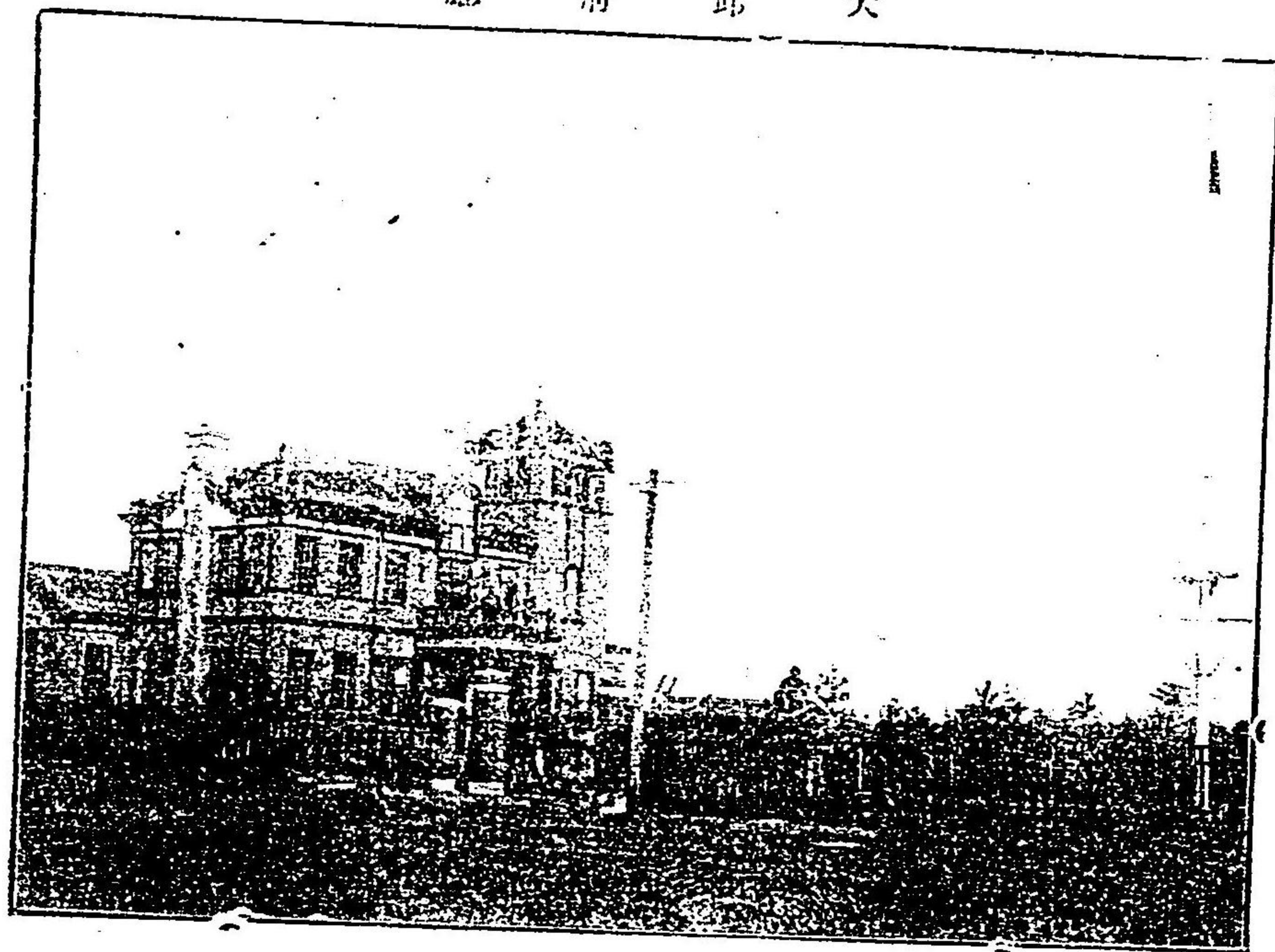


廳 道 北 尚 歴



官制改正の爲財務監督局を廢せられ道廳舎と爲る

大 邸 府 廳



元大總理廳：官署正主大邸府に置るに至りて廳

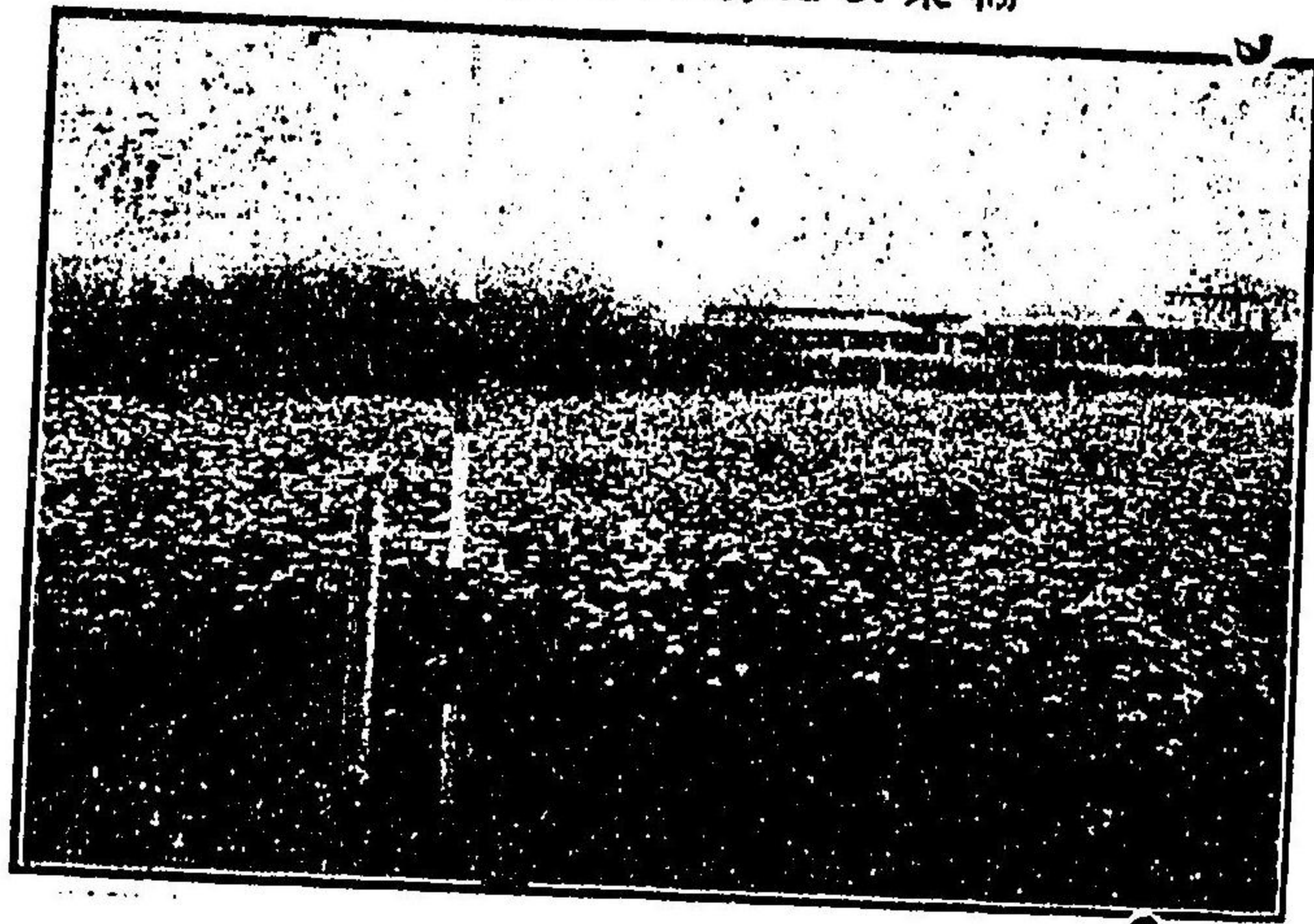
大邱東城町



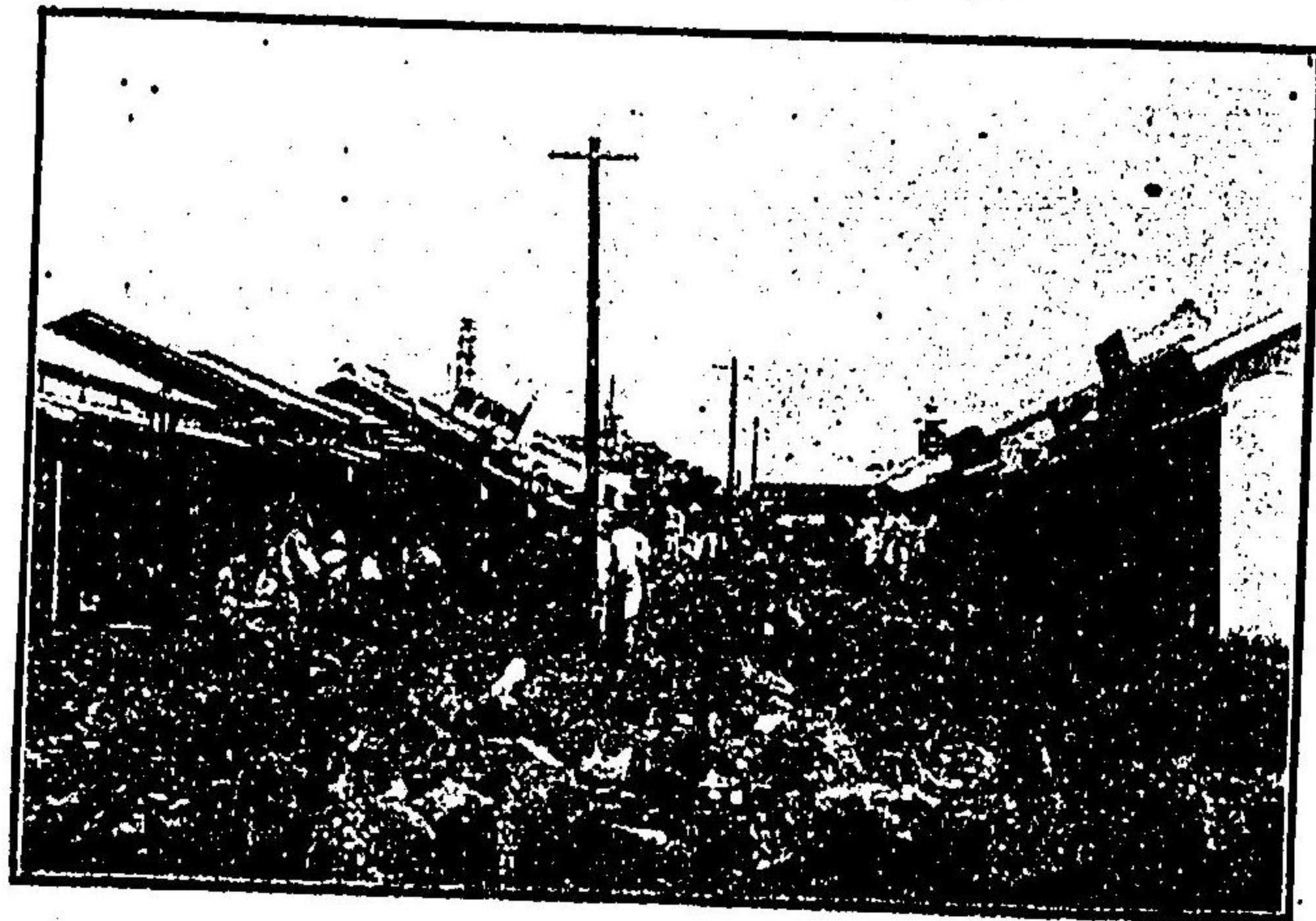
大邱元町



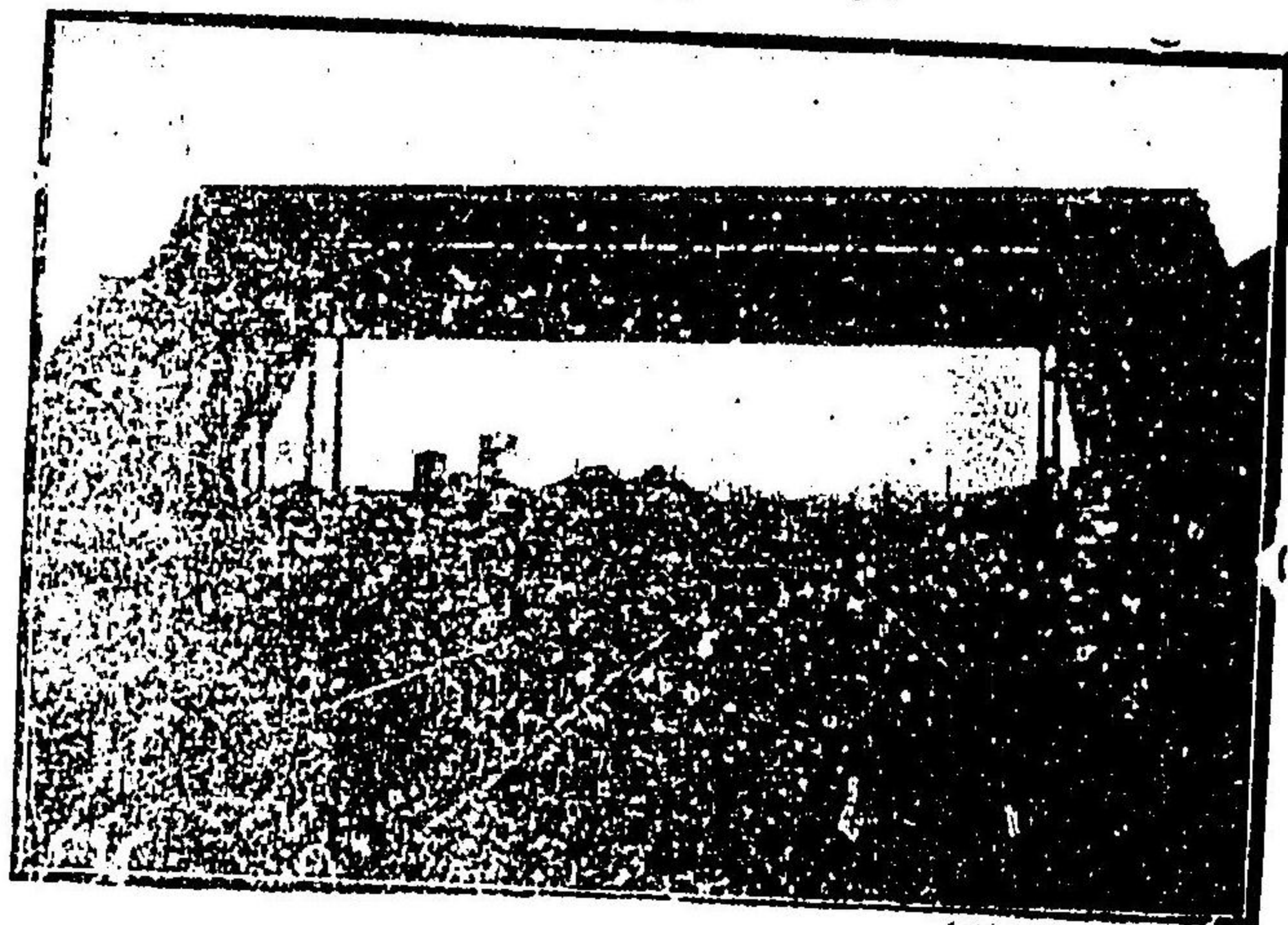
勸業模範大邸出張所



工事中の大邸本町



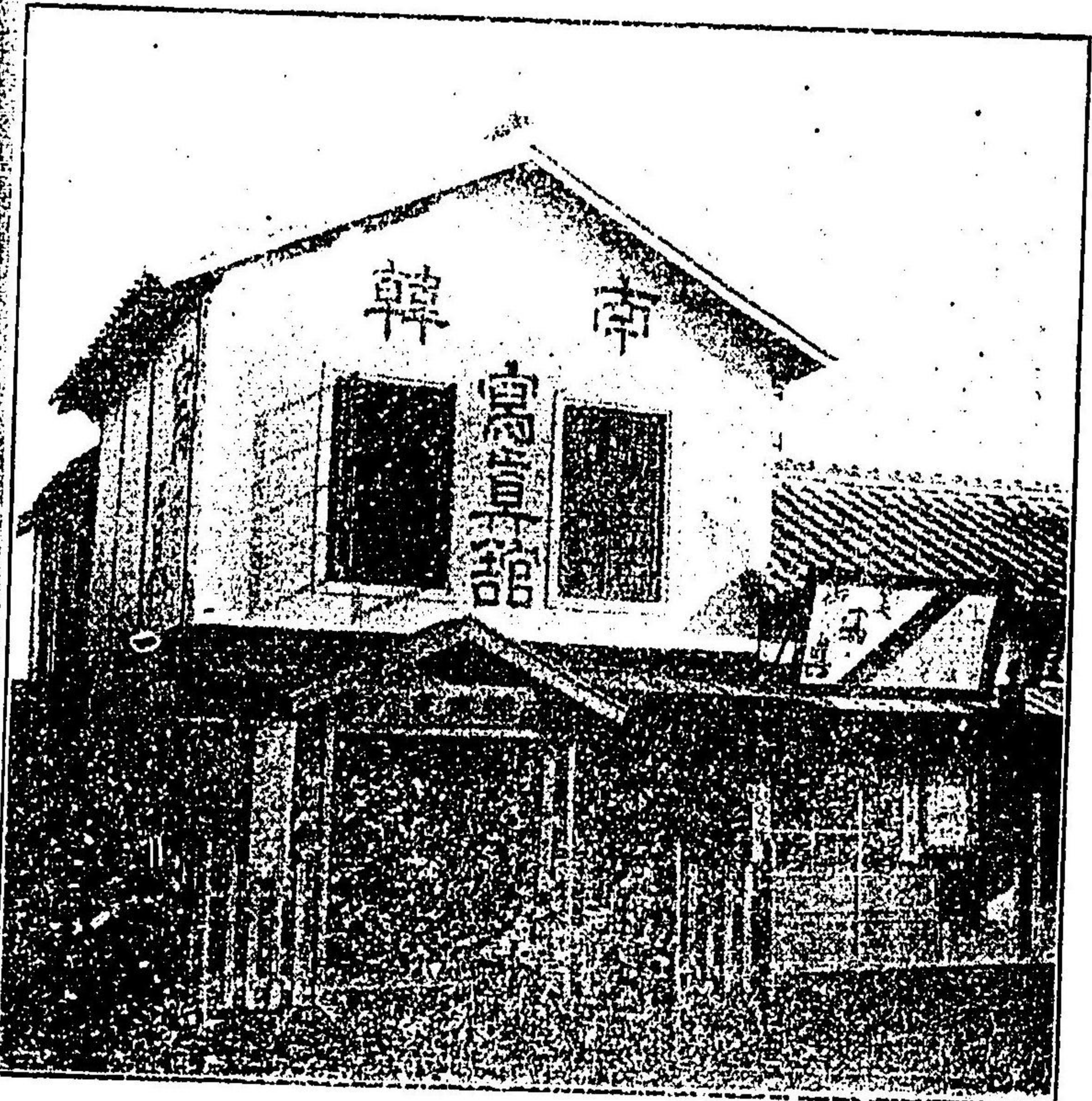
大 邸 驛



大 邸 西 市 場



(毎 月 陰 曆 二 七 日 に 開 く)



朝鮮風俗繪葉書

プロマイト引延寫真

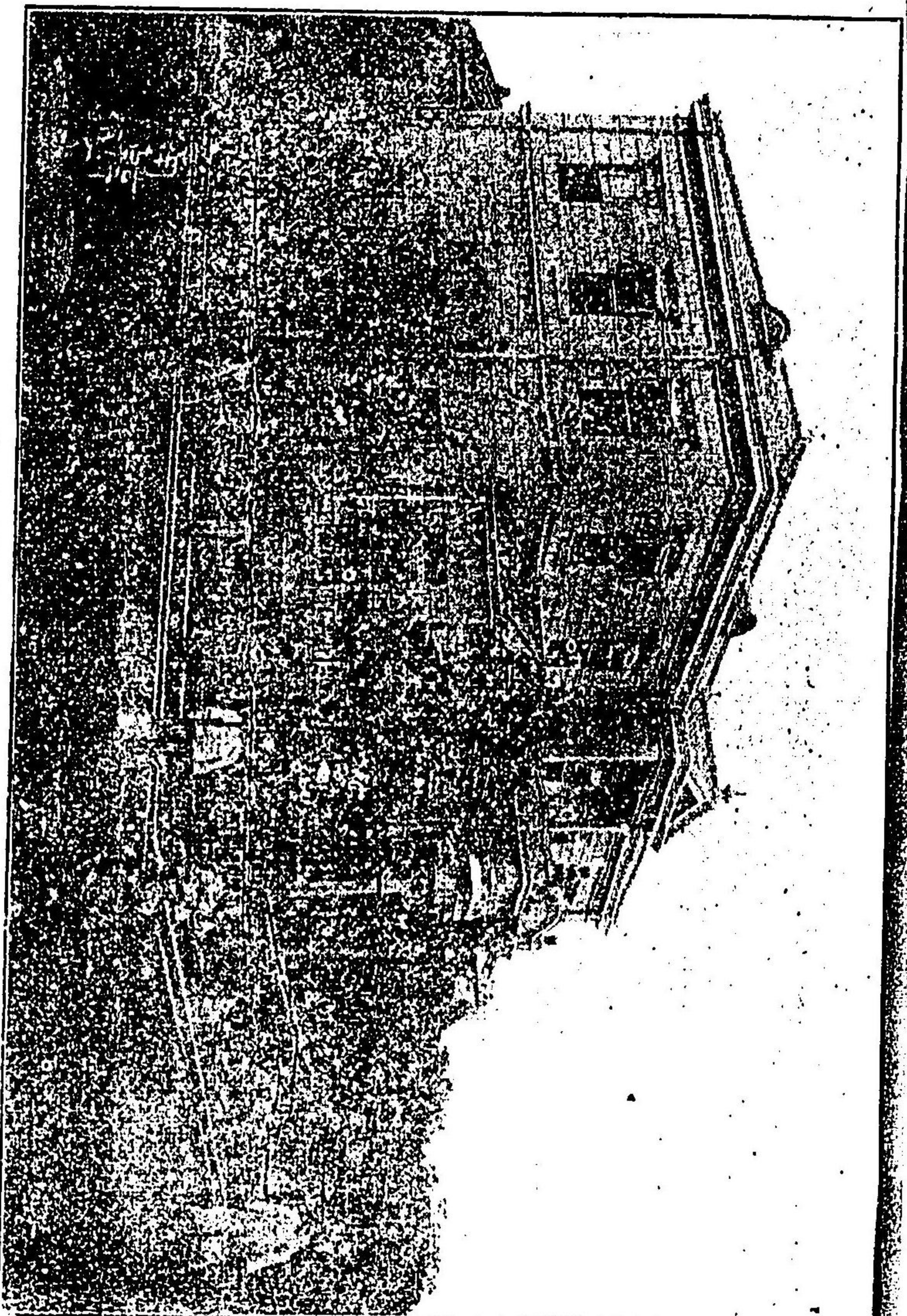
有名賣藥各種

大區元町一丁目

南韓寫真館

(電話一六九番)

寫真師 平田新太郎



店本師大行築工農尙慶

▲▲▲
 當座預金
 特別
 壹錢
 八月一日
 ヨリ改正

株式會社 慶尚農工銀行

電話 銀行 二〇〇
 支配人宅 一五〇
 副支配人宅 二七五番
 振替貯金 韓國 二六五番

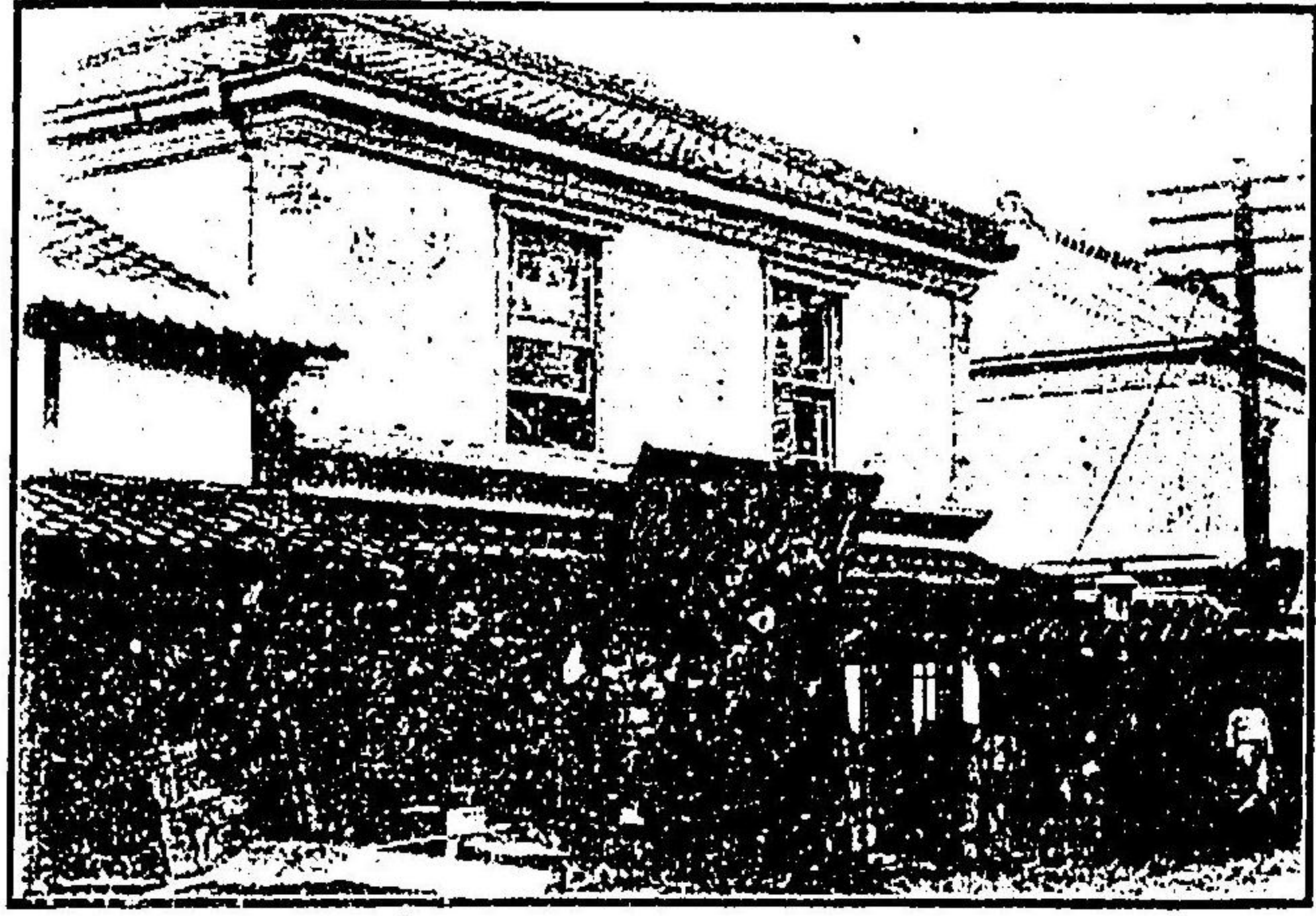
●本行は農工業資金に對し年賦定期の貸付を爲すと同時に普通銀行一般の業務を確實迅速に取扱可申候
 ●本行は倉庫業兼營致居候に付倉庫券を發行し同証券に對して精々便利に御融通の相談に可應候

▲爲替
 大阪、長崎、京城、龍山、釜山、仁川、明城、大田、清州、忠州、春川、江景、公州、平壤、鎮南浦、沙里院、海州、清州、義州、海邊、元山、咸興、鏡城、清津、會寧、群山、全州、南原、古阜、光州、後橋浦、榮山浦、濟州島、木浦、羅州

○ ○ ○
 內 婦 小
 外 人 兒
 科 科 科

外來患者 自午前九時
 診察時間 至午後一時
 及 夜間
 往診 午後

大邱大和町三丁目
 池上病院
 (電話一九五番)
 院長醫學士 池上四郎



消火器各種特約販賣

洋酒 化粧品 塗料 賣藥 器械 藥品

卸小賣

藥劑師

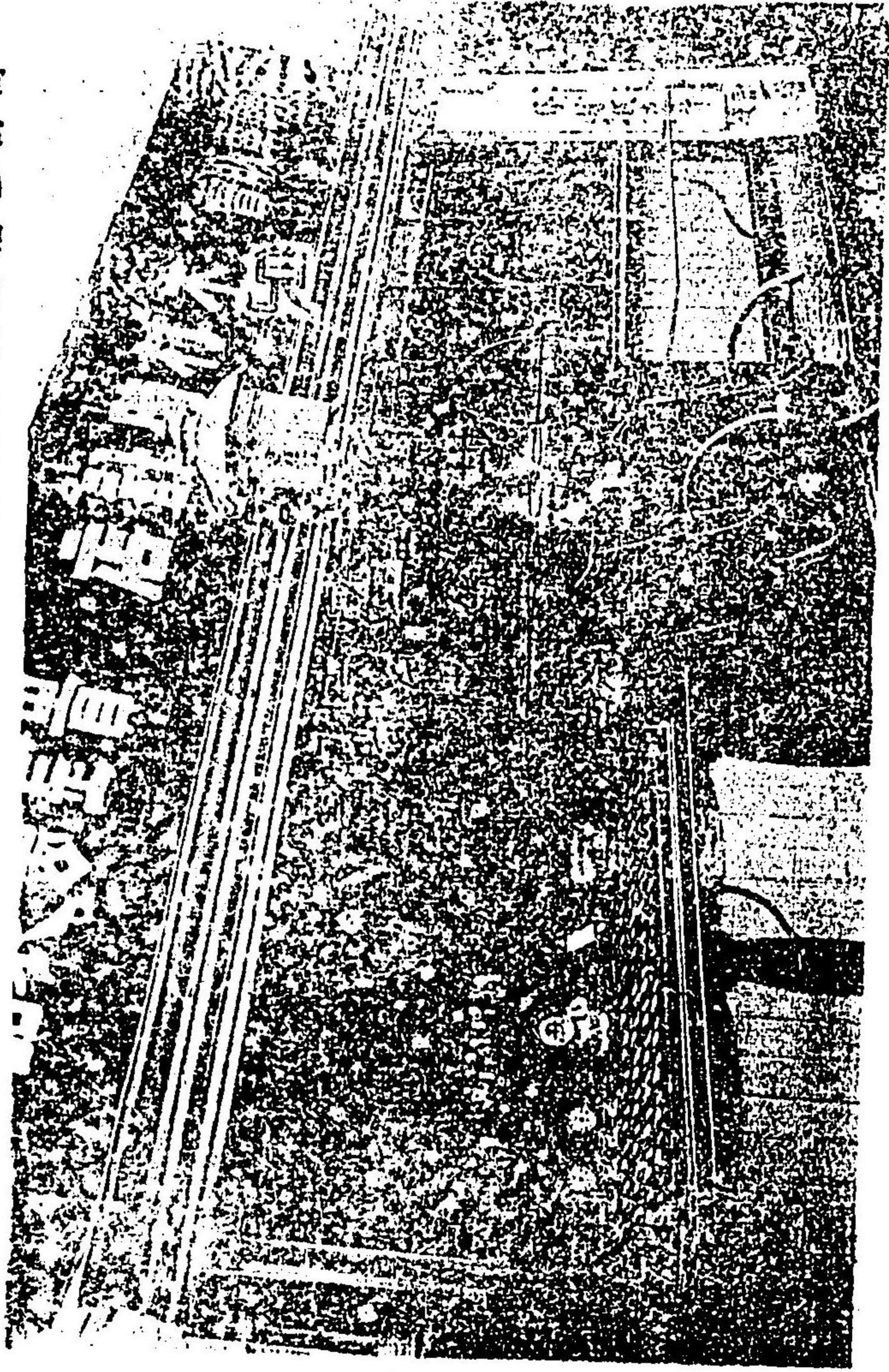
町田久吾

町田回春堂藥局

大邱元町一丁目

電話一三二一番
振替口座 韓三二六

計時銀金各國
各種計時掛用衙官諸



時計修繕保價險付日期てに確實迅速に調製可仕候

類屬計時并眼鏡銀金
義主賣多利薄

大邱本町一丁目 電話二三八番

◎内外科婦人科
◎耳鼻咽喉科
入院隨意

診察午前并夜間九時迄、往診午後

大邱東城町一丁目

十字堂醫院

(電話 二二九番)

院主 相田小八

東京生そば
にぎり壽司
會席御料理
てんぷら

折詰其他御好次第

大東庵

(電話百四十九番)

南逸史三浦芳洲校閱
大邱新聞社編輯局編纂
慶北要覽

本巻掲載目次

大邱新聞社發行主任 本社社長 河井朝雄

編輯局

慶北各郡米穀收量比較表

慶北各郡麥類收量比較表

慶北各郡大豆作付反別及收量表

慶北特産物と劣等産物

ハソソグ製造に就て

韓國製造合資會社社長 小倉武之助氏談

大邱案內

大邱民間長 渡邊村男

慶尚北道の農業 大邱農林學校長三浦直次郎

慶尚北道の商業

大邱商業會議所書記長 小宮彦次

慶尚北道の林業 道林業主任 守田六男

大邱在留地人府縣別表

慶尚北道戶數及人口

- 一 一
- 二 一
- 三 一
- 四 一
- 五 一
- 六 一
- 七 一
- 八 一
- 九 一
- 一〇 一
- 一一 一
- 一二 一
- 一三 一
- 一四 一
- 一五 一
- 一六 一
- 一七 一
- 一八 一
- 一九 一
- 二〇 一

大邱新聞社寄附品

▲慶尚北道の果樹栽培

▲慶尚北道の雜草栽培

▲慶尚北道の本國人

▲慶尚北道の土質と煙草

▲慶尚北道の運輸交通

▲大邱驛着貨物數量表

▲大邱葉煙草累年價格表

▲大邱葉煙草累年收量表

▲大邱發着鐵道噸數貨金表

▲輸出品鑑定價格標準表

▲大邱各地間水陸運費運費表

▲慶尚北道に於ける東拓經營

▲大邱各種勞務調查表

▲大邱官公吏會社社長姓名表

▲慶北の大勢

▲大邱の人口

▲大邱在留地人府縣別表

▲慶尚北道戶數及人口

▲慶尚北道戶數及人口

- 一 七
- 二 四
- 三 四
- 四 六
- 五 一
- 六 一
- 七 一
- 八 一
- 九 一
- 一〇 一
- 一一 一
- 一二 一
- 一三 一
- 一四 一
- 一五 一
- 一六 一
- 一七 一
- 一八 一
- 一九 一
- 二〇 一

▲慶尚北道農業者	四五
▲大邱附近の煙草状況	四五
▲慶北の蠶桑	四五
▲大邱著名營業者	四九
▲大邱居留民團議員姓名表	五〇
▲大邱商業會議所役員姓名表	五〇
▲大邱神社寺院教會	五〇
▲大邱の各醫院	五〇
▲大邱著名の製造所	五〇
▲大邱著名旅館	五〇

▲壹部賣定價金貳拾錢▼

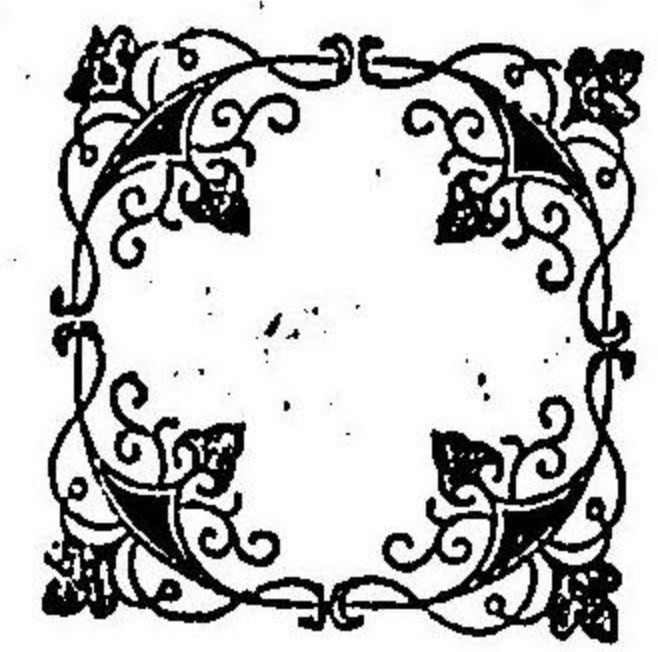
發行兼編輯人 原岩太郎
印刷人 大島次郎吉

明治四十三年十月二十七日

朝鮮大邱府京町(舊南門内)

發行所 大邱新聞社

(電話貳百四拾九番)



慶北要覽發行的主旨

大邱新聞社長 河井朝雄

本年八月廿九日、韓國聯合の發表せらるゝや從來成敗を觀望しつゝ、在りたる本邦實業界は俄然として朝鮮經營に重きを置き視察者は個人に、團體に陸續として踵を接するに至る、就中東洋殖殖株式會社が主催せる朝鮮實地視察團は各府縣の粹と抜き英、擇びたる篤農家又は有力家にして此一行の人士が實業界に於ける位置は優、府縣を指導するに足るものなり、朝鮮各地が之を歡迎して其或は及ばざらんことを恐る、所以のものに朝鮮經營が現在僅に十五六萬人の本邦官民の方にて不可能なるを思へばなり、殊に當慶尙北道は海に遠くして而して地潤く農業を以て經營の本位とすべき地方なり、此視察團を迎ふる誠意の深厚なる豈に偶然ならんや、本社微力と雖も慶北の公機關を以て自ら任ず聊か視察者の參考に資せむと欲して材料を各方面に蒐集して一冊子と爲し附録として之を視察團員に贈り且弘く四方に頒つ、固より急遽の編纂にして、體を爲さずと雖も庶幾はくは調査に少補なくんばならじ、讀者此意を諒ごせば本懐の至らなり

例言

一、本籍は慶に鐵道院主催朝鮮視察團の爲に慶北の状況を大邱新聞増刊紙上に掲載せるものを更に校訂増補し東洋殖殖株式會社主催の農地視察團に贈り且其他の慶北の状況を知らむと欲する人士の調査資料に供せん爲に編纂せり

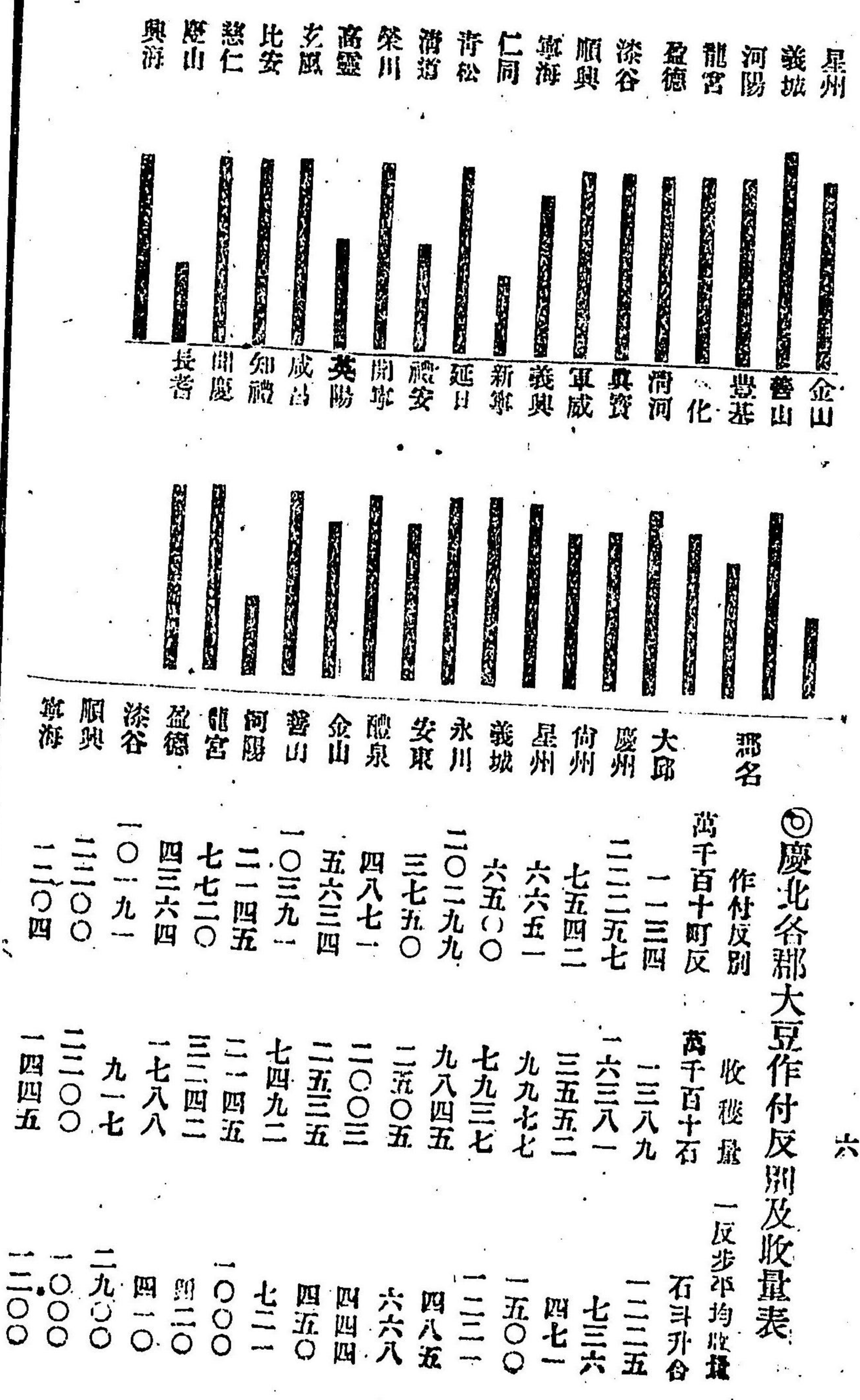
一、掲載事項の順序相整はざるは編輯日數僅に數日面も出來得る限り各専門當局者の調査を乞ひ、得るに隨て採録したるが爲なり

一、數字に關するものは勉めて精細に校訂を加へたり然れども元來統計に粗漏なる韓國の誤を受けたる帝國官衙若くは法人の調査日尙ほ淺ければ其的確なる數を得難きものあり是れ今日に在て免れざる所なれど大體に於て大差なきを信す

一、本籍編纂に方り渡邊村男、小松彦次、岡村享、三浦直次郎、戸來秀太郎、飛船秀一、守田六男、桂榮三其他居留民團吏員、商業會議所員等の諸氏が本社爲に多大の勞を取られしは特に記して謝する所也

明治四十三年十月二十七日

大邱新聞編輯局



仁同	六四〇一	四九九九	七八一
青松	二〇二二	一二〇七	六〇〇
清道	一九四八〇	一四八六三	七六三
榮川	五〇〇〇	三六〇〇	七二〇
豐基	五三三六	六三九一	一二〇〇
奉化	一一四〇〇	四五六〇	四〇〇
清河	四六三二	四一六七	八九九
眞寶	二二七〇	一七〇三	七五〇
軍威	二三四八	九四四	七〇〇
義興	五〇〇〇	三〇〇〇	六〇〇
新寧	六三四四	三八〇六	六〇〇
延日	四五八七	三七八四	八二五
禮安	二二六一	二二六一	一〇〇〇
開寧	四六八〇	二三四〇	五〇〇
高靈	七八六四	四三七二	五五六
玄風	七四二六	七四二六	一〇〇〇
比安	六三四一	三二七一	五〇〇
慈仁	一四一四九	五七三〇	四〇五
慶山	三四六七	二七四三	七九一
興海	一三六五	七三八一	五四〇

慶北特産物と劣等産物

慶北の特産物としては棉花、大麻、苧麻、荏子及煙草あり、煙草は別項に詳記する如し其他の大略を擧ぐれば棉花、大麻、煙草、荏子は殆ど栽培せざる郡なしにして棉花は義城郡の作付反別八百六十六町七反歩收量四萬六千貫、大麻は知禮郡の九十一町五反歩收量七千三百貫、煙草は義興、開慶二郡の七十町歩收量一萬四千貫乃至二萬一千貫と最多とす、是等は重要の生産物なりが其他に劣等作物として粟の多きは駭くべき多數なり朝鮮が耕地に富むと同時に未墾地の多きも亦之を推して知るべきなり、禮安郡の如きは小白山麓の荒野なるが故に人民は皆粟を常食とせりと云ふ、今最も多量に産する地方を擧ぐれば左の如し

英陽	一四二六	一九二六	一三五〇
咸昌	三〇〇八	一一五一	四三二
知禮	三五二五	二二一五	六〇〇
開慶	八三七〇	四九三八	五九〇
長者	九九二〇	四九六〇	五〇〇

郡名 作付 反別

收 穫 量

義城	六百五十三町八反歩	七千八百四十五石
安東	八百四十七町歩	七千三百石
盈徳	六百八十六町二反歩	六千四百四十一石
青松	千〇〇五町六反歩	九千〇五十一石
奉化	千二百十五町三反歩	一万二千七百六十五石

以上は主産地を掲げしものなるが全道の合計は作付反別八千九百三十五町五反歩にして其收穫量は實に九萬六千六百五十一石なり、此他に一種の特産は朝鮮獨有の大莞にして「ワングル」なるものあり、蕪蕪の原料として其織緯の強靱なると其光澤の麗彩あるとは本邦の莞草を凌駕するに足れり特に別項に紹介すべし

ワングル製筵に就て

韓國製筵合資會社長 小倉武之助氏談
 私がワングル製筵に従事致しました由來は斯うです、朝鮮の開発は殖産興業の道に講ずるより外無い事は申す迄もありません、然しながら産物に乏しく且人間は遊ぶに馴れて居るので、容易の事ではありません其

八
 處で本邦人が如何に骨を折つても漸く二十万人に満たない人數が十三道に散在して居るので、其も前居留地に多いのですから現に本邦實業家の一人も住まぬ郡が多いではありませんか、尤も今後はドレドレ移住者も御座いませう、がなか／＼各地に行渡つて朝鮮人を指導する様になる迄には相當の年月が掛ること、信じます、朝鮮の殖産が最大急務であるのに、遣り手か少ないから如何とも仕方がないでせう、私は此處から少考へまして、朝鮮を開くには先づ朝鮮に適當して居る特産を原料として遊んで居る人間に職を授けるのが良策であると信じました、然し職を見附て遣ても智慧の足らぬ人間に何でもさせて好いとは行きません、成るべく適當の粟を見出すのが肝要であると思ひました、如何が適當かと探しますと、朝鮮に産出して朝鮮人に製造が出来、且産額も需用に應じて供給力を増すことが出来る物で其上に朝鮮内地で使用する斗りで無く輸出をして富となる物は何かと申せば差向き紙、蕪蕪、細、吹の様なものであると思ひました、殊に朝鮮には「ワングル」と云ふ一種特別の大莞があり、是は頗る有望の品で他日は歐米輸出の日本花蕪を凌ぎ日本邦の

慶表に一大革命を傳ふべき力を有して居ると信じます且本邦の莞草産地たる岡山其他では栽培適地に限りがあり、其の事業が發達するに随ひ工費も高まりますから同一の品であつたならば朝鮮が土地、賃の安さから同一の品では當然の結果と信じます、然るに「ワングル」は其れ以上に優越なる力を持つて居ると申しますのは、織緯が他まで長く、強靱の程度は日本産がとてめ較べものになりません、更に光澤の麗しいことは御承知の通りです、是なれば朝鮮の特産物として製造しまして無限の販路が有ると信じまして起業した譯ですが何を申すも今の處では原料が不足ですから困ります僅の原料を此處彼處で集めるのですから豫算外の費用が掛つて自然製品も安く買れない事になつて居ますがそれでも注文に應じ切ることには到底出来ません此れが一つの張合で只今は唯前途の希望の爲に費用を投じて栽培の奨励をしたり又職工を養成するにも不相當の高給を拂つても成るべく向後朝鮮人を多く仕込む方針を取て居りますので純然たる營利斗りの經營ではありませんから收益の點は當今顧慮する暇がないのです、然し此の天賦の特産は必ず發達して朝鮮の富

源を補ふこと、楽しんで居ります適當の産地も當道に南道は岩ば調査を致しました云々

◎慶北鑛業一覽 (明治三十九年以降)

鑛種	地 名	鑛業權所有者
砂鑛	尙州、星州、長者	長谷川竹吉外一名
金鑛	星州郡西谷面	小宮高次郎、長谷川竹吉
金鑛	全郡社陵面	安井作次郎、中村俊松
黒鉛	咸昌郡上西面	權 藤 茂 邦
金銀	高靈郡雲羅面	慶田利吉外五名
石炭	延日郡日月面	金 斗 燮
石炭	善山郡海平面	井 村 岩 松
石炭	全郡海平面、山陽面	池 田 又 一
石炭	長豊郡陽南面	田中常次郎外二名
金銀	星州郡大里面、青波面	荒 木 忠 七
石炭	長者郡縣内面今上洞冠岩洞	岡田一良外一名
銅鑛	仁同郡若木面	江藤恒策外二名
黒鉛	咸昌郡上西面	權藤茂邦外二名
全	全郡下西面	鹽川勝太郎
石炭	善山郡夢大面	梅尾圓八外二名

く霧の如きは殆ど音無と云ふも差支なかるべし空氣は常に乾燥して惱む如きの曇大勢なり冬季は寒風肌を刺すが如きことあるも降雪船々を埋没すること稀なり一年降雪日数は僅々十日内外とす雷電は約十五六日也。霰に至る時尤も降雨日数は一年中殆ど六十日に近し故に氣候は人體に害なく且内地人の増加するに従ひ冬季も一年に暖氣を加へ日本化するに至れり又地震なきは此地の一大特徴なりとす

▲大邱の行政 當地に日本人會を創立時代は釜山領事館の支配を受け居りしが其後居留民の發展に伴ひ三十九年九月十五日大邱理事廳を設けられ觀察道宣化室を以て假廳舎に充て後澄清閣に移る四十二年十二月東門外に先づ官舎を建てて四十二年六月廳舎を起工し全年十一月竣工せり今の大邱府廳是れなり、居留民團は三十九年に設置せられて今日に至れり

▲大邱の司法 司法權は觀察使郡守の掌握せしものに頼問制度を設け松下直美氏(現地方裁判所長)顧問たり尤も日本人間及び當事者の一方が日本人たる場合には理事廳の裁判を受けたるが四十年日韓協約第三條に依り司法權獨立し同十二月裁判所構成法實施せられ當所

にも控訴院(慶尙南北道及全羅南北道を管轄す)地方裁判所を置かれ區裁判所は當地及道下の十數郡に置かることとなり次で四十二年七月の協約に依り司法廳委任の結果法官は儘く統監府官吏と爲りたり是より先き廳舎は東門外に起工せられ三裁判所及監獄は既に竣工し巍然たる大建築は朝鮮第一の司法廳舎と稱せらる現控訴院長は土井庸太郎氏檢察長は黒川穰氏なり

▲大邱の守備 南韓守備の本據と當地に置かれ司令部の所在地として慶尙全羅及忠清道の一部まで討伐範圍に属せしを以て軍隊の分配は當地を以て策源地とせり當初の旅團長は恒吉少將にして臨時派遣隊と改稱せられ更替時期の来るや昨年より渡邊少將司令官として駐在し司令部を東城町に置けり又憲兵隊あり守備隊あり憲兵隊は警務部として行政警察の任務を兼ねるに至り其成績頗る顯著なり

▲各地の距離 當地と主たる各地方の距離は左の如し

地名	里程	地名	里程
安東	二一	星州	七
漆谷	三	慶州	一六
馬山府	二八	金泉	一五
		永川	八
		沙門津	六
		三	三

地名	里程	地名	里程	地名	里程
慶州	一六	蔚山	二五	全州	四一
三浪津	四八	晉州	二六	大田	三七
善山	一五	慶山	三	河陽	五
公州	一六	釜山	二八	倭館	七
京城	七九	新義州	二〇	福岡	一一〇
長崎	一五七	熊本	一四〇	鹿兒島	一八六
大分	一一二	佐賀	一二四	和歌山	二六〇
山口	一〇八	廣島	一四七	岡山	一八七
富山	三二一	石川	三〇六	福井	二八七
秋田	五一六	山形	四六三	青森	五五六
岩手	五〇六	福島	四四一	宮城	四六〇
長野	四二八	岐阜	二七二	滋賀	二四六
山梨	四〇〇	静岡	三二六	名古屋	二八〇
三重	二六四	奈良	二四三	栃木	四九二
茨城	四八〇	埼玉	三七九	新潟	四八〇
神戸	二二三	横濱	三六六	大阪	二三一
京都	二四二	東京	四七三		

置き更に四十二年に慶尙農工銀行と改稱し慶尙南道を併せ晉州府に支店を設け其他樞要の地に出張所を開きたり右韓國銀行は中央銀行にして本邦の日本銀行の如く而て營業は専ら商業銀行たる方針也之に反して農工銀行は土地を抵當として長期の貸付を爲し農工業者には低利の貸付を爲し且倉庫を備て保管をも營めり此他に私立銀行計劃を爲し設立認可申請中の者あるも未だ認可を得ず故に銀行としては此兩者の外に無し而して個人の貸金業者は甚だ多し且下大邱に於ける流通資本額は精密の調査を遂げ難しと雖も貸金業者の貸付資金又は物品販賣業者の流通資金を綜合すれば約百五十萬圓以上なるべし而して金利は銀行は日歩三錢乃至四錢前後なるべく市場に在ては頗る高利にして内地人間は月壹歩五厘乃至四分にして内地人朝鮮人間若くは朝鮮人間は三歩乃至六歩にして無擔保又は擔保物の種類に依りて其率を異にせり此他に大邱地方金融組合あり日歩三錢乃至五錢にて朝鮮農民に融通を與へ居れり目下産業組合の計劃あり低利の資金を農事經營者に供給するの方法を講じつ、在り

▲大邱管内(道廳)耕地面積 昨明治四十二年末の調査

によれば國有水田九萬五千三百三十一町歩畑五萬八千三百七十町八反歩計十五萬三千七百二丁歩にして民有地は水田十二萬千六百二十四町歩畑十二萬五千五百二十一町歩計二十三萬七千四百六十六町歩合計三十九萬七百四十八町なり此他未墾地八萬三千六百九十八町歩にして既墾地二十四萬九千三百二十九町歩なり明治四十年三月當時の政府は國有未墾地利用法を發布し日本人と韓人との間はず開墾、牧畜、植樹、養魚其他の事業に利用の爲め之を貸付し其貸付料は一町歩一ヶ年金五十錢を徴収し其目的事業が成功したるときは無償にて貸與することとせり而して當地方に於て昨四十二年末迄に貸付したるもの一萬千二百二十九町歩餘なり

▲大邱民團の沿革 最初此地に移住せし日本人は明治二十六年九月に二人ありしが二十七八年日清役起るや我歩兵二三箇中隊の駐紮あり戰役後引續き京釜間軍用電信線守備として臨時憲兵隊を置かれたり然れども三十六年迄は吾同胞の移住するもの僅に數十者に過ぎざりしか京釜鐵道工事の開始に引續きて日露戰役起り多數の勞働者、商賈人込み料理店も亦盛んに開かるゝに至れり次で二十七年八月居留民會を起し釜山領事の認

十四

可を經たり是れ當居留民團の起原にして韓國に於ける自治制の濫觴なり三十九年十一月一日居留民團法實施以來は居留民年々に増加したるを以て四十一年八月内地の市街に準し町名を定め二十區に別ちたる其町名をの如し

- 第一區 元町一、二、三丁目 一番町 二番町 三番町
- 第二區 錦町一、二、三、四、五丁目 四番町 五番町 六番町 達城町
- 第三區 幸町一、二丁目 大黒町 戎町 榮町 東城町一丁目 鐵道官舎
- 第四區 旭町一丁目 東本町一丁目北部
- 第五區 全二丁目 中町二丁目 明石町 春日町
- 第六區 龍岡町一丁目 東本町二丁目 龍泉町及其以東一帶
- 第七區 東本町一丁目南部
- 第八區 龍岡町二、三丁目 伊吹町 東雲町
- 第九區 龍岡町四、五、六丁目 旭町四、五丁目 曙町 三笠町
- 第十區 南城壁内
- 第十一區 東本町一丁目及其以內城内一圓
- 第十二區 田町 新町 村上町
- 第十三區 大和町一丁目 上町一丁目及其以東以北
- 第十四區 大和町二丁目

及その以西城壁内 ●第十五區 西城町 本町二丁目 目及その以北城壁内 ●第十六區 明治町南城町及その以南 ●第十七區 市場町市場北通 達城公園 附近一圓 ●第十八區 元町四丁目 伏見町 御幸町 七番町 日進町 奈長町 芳野町 ●第十九區 八重垣町(遊廓地) ●第二十區 停車場北方部落一圓

慶尙北道の農業

大邱農林學校長 三浦直次 郎

大邱は其平均温度茨城縣、朽木縣に匹敵せる所にして唯冬夏寒暑の差稍大なるのみなれば農業上の天恵は相當に之を享受し得べき地位にあり雨量は内地の平均雨量に比し約四割を減すべく蒸發量は内地に比し約二割を加ふ左れば雨多き年を以て豊年となし旱年凶作なき日本内地と其趣全く相反す

土壤は粘板岩及び砂岩の崩壞せるものより成り砂岩の砂礫を混すること多けれども土性佳良にして諸種の農作に適す燐酸は稍多量に含有すれど加里の含量少し慶尙北道の總面積は約一千一百方里ありて四國より一

割を減じ内地第一の大縣たる岩手縣に約一割を加へたるものに均し耕地面積は十五萬三千七百町歩にして内約三分の二は水田なり而して是等の耕地は山岳丘陵起伏の間に斷續し廣漠たる平野に乏しと雖も自然灌溉の便備はり且つ堰堤の設備古奈長く行届き居れば旱害の患も亦少なく農業の經營比較的安全なり但し洛東江沿岸には面積頗る大にして地味良好なる所ありと雖も夏季洪水氾濫の患あり防水の設備をなすにあらざれば安全なる農業を營み難し

今當地方に於ける内地人の農業經營の有様を見るに大資本を投じて大面積の土地を買得ずるもの甚だ少なく慶山における韓國興業株式會社支店を除くの外は云ふに足るものなく僅に數反歩數町歩稀に數十町歩の耕地を買得せるに過ぎず之を全羅道方面における經營者の數百町歩乃至數千町歩の土地を買收せるもの屈指に逸あらざるに比すれば甚だ落莫の感あり且その實際に耕種に従事せるものを見るに何れも果樹蔬菜若くは蘆草を栽培して奇利を博せんとするに過ぎざるが如く米麥大豆等普通作物の栽培に根柢をおき一は以て朝鮮農民の指導者となり一は以て内地移住農民の模範となるべ

きもの寥々曉天の星の如くなるは甚だ遺憾とする所なり然れども之を再思すれば當地方農事經營の前途に向て必ずしも憂慮するに足らざるが如し蓋し今日の當地に在ける内地人農業經營の狀態たる唯その順路を踏めるのみ當地方は果樹栽培の好適地なり蔬菜の大需要なる大都會を有するの地なり煙草の耕作に利ある地なり農業も亦固より收利を目的とするの業に外ならず郷里を去つて遠く異郷に来るもの何を苦しんで比較的利益少なき普通作物の栽培に従事せんや他は是等の特殊農産物の需供相均衡しその收利亦低減するに至り初めて堅實なる穀類の興るを見ん當地方穀類を目的とせし堅實なる農業經營の發達せざる理由の一は前記の如しと雖も尙更に之より大なる理由の存するあり地價比較的高貴なる事と耕地の大集團に乏しきと之なり當地方耕地の價格は平均水田一反歩に付上等五十圓中等二十五圓下等十五圓畑一反歩に付上等二十五圓中等十五圓下等七八圓と見れば大差なかるべし但し大邱に接せる所は内地人の買得土地甚だ多きを以て暴騰を來し水田一反歩六七十圓乃至百圓を唱ふるに至り畑も亦全様の高價を表せり特に市街に接せる數町以内の地は百數

十圓の價值を生せりされど是れ既往の狀況にして併合前深く内地に入らざるの時代は専ら大邱附近に土地を需むるが爲めにして郡部各方面を見れば水田は一反歩十圓乃至三十圓にて稀に四五十圓を唱ふるのみ畑に至りては一反歩僅に五圓乃至十圓に過ぎず慶尙北道の地は前記の如く現在に於て農業をなさんとするものは大に營道に着目するの必要あるを感ずる理由とする所は左の如し

- 一、當地方は旱水害の患なく農業安全なり
- 二、果樹栽培煙草の耕作に適し特殊の利を得易し
- 三、堅實なる自作農は當地方の如く山あり川あり耕地はありて各種の作業をなし得る所に發達し易し斯の如き地は牛馬の勞力を得易く肥料及燃料も亦得易きを以てなり
- 四、水田には二毛作をなし得るの利あり當地方は排水良好にして灌漑容易なれば一般に稻の栽培として大麥を栽培す全羅道の如きは氣候は反て溫暖なりと雖も地形の關係上水田に二毛作行はれざるを普通とす
- 五、養蠶その他の副業に従事し易し現に慶尙北道は

朝鮮中蠶業の最も進歩せる所なり

六、全羅道その他大集團の耕地は漸次大資本家の買収する所となりて買収土地の缺乏を告ぐることを遠からざるべし

右列舉の理由によりて吾人は天下具眼の士が農業の中心堅となるべき中流以上の移住農家の經營地として當地方を選り渠等をして安全なる農業を営ましめんことを希望す土地の價格の他地方に比して稍に廉ならざるは既に天恵の深きものあるの證となすべきなり

慶尙北道の商業

大邱商業會議書記 小宮彦次

▲商業的地位 慶尙北道は南北西の三面隣道、接し且つ東日本海に面するの地方に於ても良港灣を有せざるが故に一見物資吞吐の便を缺くが如しと雖も道の中部を貫通せる京釜鐵道ありて連絡交通の便備はれり且つ道内至、慶沃野粟米豆其他の農産物頗る豊富なるが爲めに年々日本内地其他各方面に向つて供給する穀物の數量多大なると共に雜貨の需要亦頗る盛んなるの現況にあるのみならず時勢の推移に伴ひ益々繁盛を加

ふるの趨勢にありて道内一の開港地を有せずと雖も其實質に於ては開港場を有するの地方に比し敢て遜色なきを疑はざるのみならず爾今諸般施設の進展に連れ益々商業的地位を騰め商取引の盛大を加ふべきは蓋し豫想するに難からざるなり

▲慶北の中央地 慶尙北道に於ける政治經濟其他諸般の中央地點たるもの即ち大邱となす、大邱は古牙南韓唯一の都會にして京城釜山間に於ける一大物資集散市場たるは一度開港を展くもの直に首肯すべきを疑はず而して此地の商業的區域を示せば密陽以北永同に至るの鐵道沿線及び北安東方面東慶州地方、南玄風高靈等の各方面は總て大邱の商業圈内に屬し日本海沿岸の一小部分を除くの外は總て大邱に物資供給の關係を有せざるなく慶尙北道の殆んど全部は大邱の商業區域と謂ふも敢て過言にあらざるなり、爲めに大邱に於ける經濟界の消長は直ちに之れ等各方面に影響するところ尠少なからざるは言を俟たざるなり

▲商業界の發展 京釜鐵道の開通によりて連絡交通の便を得たる慶北の地は俄かに舊時の不便を打破すると共に鐵道沿線各地に於ける在留内地人は日に其の

敷を加へ隨て商取引稍活氣を呈し就中大邱に於ては最も盛況を來すに至れり然りと雖も其當時にありては輸出と共に釜山の中繼に據り物資の供給總て之れを釜山に仰がざるなく、慶北の全郡は殆んど釜山の商業圈内に屬し特に大邱は恰も釜山の出張店たるに過ぎざるの觀を免かれざるの狀態を繼續したり、然るに去四十年財務監督局控訴院以下各裁判所、南韓守備管區司令部其他諸種官公衙の設置を見ると同時に來り住せる内地人の數俄かに激増せるに隨ひ市況頗る活氣を加へ商業界頗る繁盛を呈するに止まらず四十年七月大邱保税貨物取扱所設置せられ鐵道便に據りて輸入せらるるの貨物に對しての税關事務を取扱ふに至りければ輸入貿易に多大の便宜を得るに至り且つ韓國鐵道と日本内地鐵道との貨物聯帶輸送開始により米豆その他輸出品貿易の便亦開くるに至れり爲めに輸出入共に漸次釜山の中繼を脱し日本内地各地方との直接取引年と共に露大を加へ今や殆んど釜山との需給關係を斷てるの狀態に及べり尙ほ近く大邱安東間約廿六里及大邱玄風間約六里の道路改修に着手せらるゝあり、之れが完成の曉に於ては鐵道沿線以外に於ける運輸交通の自由を得るに至

ると共に大邱に於ける物資の集散激増し市況一層の盛況を來すべきは期して待つべきの價値あるを認むるものなり

▲内地人の商業狀態 その一斑を示さん爲め大邱に於ける内地人の商業狀態を畧述すれば全体を通じて二大別するを得べし他なしその一は本町一二丁目市場北通り京町等に於ける對朝鮮人商業にして他の一は元町錦町、大和町、東城町方面に於ける内地人商業之れなり而して對朝鮮人商業は主に金串、白木館、綿糸、石油、燐寸、陶磁器、鍋、釜其他雜貨の販賣及び穀物商にして日を追ふて盛況を呈しつゝあり、内地人商業は酒類、醬油その他各種の食料品、呉服太物、金物、小間物、藥材賣藥、紙類文具、家具、西洋雜貨その他日用品等各種の商賣備はらざるなく益々繁盛の域に進みつゝありて單に市中に於ける卸小賣のみに止まらず鐵道沿線その他各方面に向つて供給するの物資尠ならず商權漸次擴大しつゝあるの狀態にあり

▲朝鮮人の商業狀態 頗る幼稚の境にあるは更に多言の要なきところにして近時大邱に於ては内地人の商業に倣ひ店舗を講えて諸種の營業をなすもの漸次増加

傾向にありと雖も未だ甚だ微々たるに過ぎず主に古來の習慣により各主要地に於ける毎月數回の市場に於て穀物海産物その他日用品を始め各種雜貨、生牛、鶏卵等に至るまで總ての需給を行ふものにして中にも大邱の市場はその盛んなる實に全朝鮮を通じ稀に見るの狀況を呈し十數里の遠隔地方より出市するもの尠なからず毎市の取引高頗る多額に達し内地人穀物商の商品買収の如きも主に此の市場に於てせらるゝの現狀にあり而して大邱の市場は東西二箇所に開かれ西市場は陰曆二七の日東市場は陰曆四九の日を以て市日と定め毎月各六回を開市す、就中西市場は取引甚だ盛んにして東に比すれば出市貨物約三倍に達し毎市の取引高概ね數萬圓を算するの狀況にあり尙大邱に於ては毎年春秋の二回各約一箇月間合市なるものを開き全朝鮮各道の商人來り集まり藥材を主とし雜貨の取引甚だ盛大を極む

▲金融機關 現今大邱に於ては韓國農工銀行あり韓國銀行支店に於ては中央銀行事務の傍ら行規の許す限り普通銀行業務を執り爲替の取組その他、地方金融の便を圖り農工銀行においても直接間接金融の便を與ふるもの亦な少しとせず、現時大邱地方の金融界は一

に兩行に俟つて活動しつゝありと雖も前者は中央銀行にして後者は産業銀行たり共に普通商業銀行ならざるが故に往々商業家の要求を充たし難きの己を得ざる場合なきにあらざして當業者の不便を感ずるもの少なからざるの狀態にあり爲めに確實なる普通商業銀行の設立は大邱商業家年來の希望にして其經營の頗る有望なるべきは決して疑を容れざるの現狀なりとす

▲商業團體及會社 大邱に於て現存せる主なるものを擧ぐれば大邱商業會議所ありて商工業家の機關たり穀物輸出商組合ありて其事務所を商業會議所に置き十數名の組合員を有し協力を以て穀物取引の發展を圖りつゝあり、スマンガード石油大邱特約組合ありて基礎を固め益々販路の擴張に努め頗る好成绩を收めつゝあり其他日本麥酒販賣組合、藥業組合、醬油販賣組合等あり何れも活動の機運に向ひつゝあり韓國製糖會社は當地方産出の莖草を原料とし華蘆及糖漿の製糖に従事し漸次盛況に向ひつゝありて其製品は將來大邱の特産物たるに足り望を囑せられつゝあり大邱海陸物産株式會社は其事業未だ甚だ大ならずと雖も農産物及海産物の委託賣買を營み頗る確實に經營せるを見、その他三

四の牛乳搾取及び石油販賣等あり尙ほ大邱製粉精米株式會社起り近く營業場を建築し事業に着手するも遠きにあらざるべし要するに漸次團体的事業創設せらるゝの機運を現しつつあるの狀勢にありとす

慶北の林業

道林業主任 守田 六 男

朝鮮は將來農業國として發達せしむるの外一寸方法がない將來農業國とするには是非何川の整理耕地の改良が必要である此れ等の整理改良をして完全の好果ありしむるには是非山林の整理を必要とする然るに日本内地から朝鮮に來て一番目に着き不快に感ずるは鐵道沿線から見らるゝ山野は荒廢である尤も朝鮮でも鴨綠江大洞江流江の上流には大分鬱蒼たる森林もあるが慶北は非常に秀山が多い此れは何が原因であるかと云ふに(一)荒し易い花崗岩片麻岩なる事(二)韓人は布團を用ひず各家皆温突に依り冬期中温を取る爲め多量の燃料を要する事(三)林政と云ふ者なく濫伐にまかせたる等が主なる原因である然し全山皆無立木であるかと云ふ

に決して然らず大概の山々には小なる赤松が存在し此れを保護すれば充分成林の見込ある箇所が澤山あるまた無立木でも比較的味良好で植林すれば美事に成林し經濟上利益なるヶ所も多く將來植林事業は有望なる事業と信ずる殊に内地人が多數入込めば家屋建築用材及薪炭材の缺乏は益々甚だしきに到る事は遠き將來ではあるまい然れば之れに對する政府施政如何と云ふに明治四十年三月から大邱林業事務所と云ふ農商工部直轄の役所を設定し此れに八町歩餘りの苗圃を附屬し種々山林樹木の試験苗木の養成をなし傍ら山野の調査を行ふて居る此の試験の結果植林に適當する種類次の如し

赤松、黒松、樺、栗、榲、白楊、泥楊、山赤楊、明石屋等で何れも内地同様否或るものはより以上の好成績である今本實行したる樹種は次の通りにて中々美事な成育をして居る

赤松、黒松、樺、榲、等二十二種

播種總合計四十六石六斗八升

同上床替本數百七十八萬八千餘本

此等成苗は如何に處分せらるゝかと云ふに政府にては

自ら模範植林を爲したる殘は年々内地人と朝鮮人とを論せず無料配付を行ひ植林の奨励に力めて居る大邱から南一甲餘の琵琶山に明治四十一年四十二年度に模範造林を行ひたり此が成績を見るに明治四十一年度は

樹種	面積	積本	數	枯損
樹	六十町歩	二五九二〇〇	六	歩
赤松	四十町歩	一七二八〇〇	一	割

五尺四方植經費平均一町三十六圓

四十二年度は面積五十町歩樺種子三十石樺、栗、赤松山赤楊、明石屋等十萬本播種及植樹せしに何れも植損一割内外にて成育中々良好である此の植林に付て最も心配せしは植付苗木を引致かれぬのであつたが政府では植林に地方住民を使用し下草等も施業に差支なき限り此れを許可し自然に愛林思想を養成したるため此の被害なし將來植林せんとするものは此の點に注意し地方人民と融和し好く此れを利用する事が必要である種苗は無料配付しまた實地植林指導の奨励に力めて居る本春無料配付數量は

樺種子四十二石九斗

明石屋種子四斗三升五合

樺、柏、系、白楊、泥楊等合計三十三萬餘本

出願本數十九萬三千餘本で希望の僅か一割八分を配付したる有様大分植林の機運に向ひたるが然し新官制に依り林政は地方廳にて分派することとなり益々奨励に力むる事と思ふ

然れば造林せんと山原は到る處にあり如何にして得るゝかと云ふに國有地なれば部分林法とするも可又貸下に依り殖林する政府は種々此れに對し便宜保護を屬へ居る又民有地なれば買入するもよからう山の相場としては一一定せざるも一町歩六七圓位で手に入るから此れに植林すれば將來國土保安の外經濟上有望なる事業ならん今や朝鮮の山野は日本文明に浴し緑を以て飾らるゝ事を希望して居る事と思ふ

慶尙北道の果樹栽培

勸業模範場技師 戸來 秀太郎

▲起原栽培及反別 大邱地方に於ける栗樹栽培の盛衰は明治廿八年大邱東本町野谷豊功氏其居宅の後園に試驗的に數十株栽培せるに始まり爾後年を追ひ之れが裁

培に着目する者漸く多きを加ふると共に附近の熊東村(距大邱東方約一里)倭館、金泉、慶山等各地に波及し昨年の如きは星州の朝鮮人中にも一二の栽培者を出すの氣運に達し其栽培面積の如きも約七十五町歩を算す未だ以て盛大の域に達せりと謂ふ能はざるも僅に五十の營業者の新事業としては寧ろ内地の斯業に凌駕せりと謂へきなり今年々の栽培反別概数を示せば左の如し

年 度	植付反別
明治三十九年度	七町歩
全 四十年 度	七町歩
全 四十一年 度	十町歩四
全 四十二年 度	三十四町歩
全 四十三年 度	十三町歩

然るに豫期の如く當初試験的に栽培せる梨、葡萄、林檎等は未だ三四年を出でざるに己に凡一累々たる明珠朱玉を聯ねたるを見たるより營業者の悦び恰もルイジアナに於て始めて結晶糖を得たるの際農民の一齊に狂喜せるが如し爲めに昨年の如きは果樹栽培熱大に勃興して一時に三十四町餘の増植あり此趨勢に鑑み今日己に營業者間に於て果實の販路を懸念する者あるに至れ

りと雖も近くは内地及び滿洲遠くは露領亞比西利比律賓等に販路を開拓するの餘裕あるを以て或程度迄産額を増大する事は寧ろ果實輸出上利益多かるべきを信するなり

▲氣候及土質 獨り當地のみならず一般に朝鮮の氣候は夏熱冬寒にして降雨少し特に春期の乾燥は開花結實の作用不完全なからしめ夏期の降雨は樹幹及果實の生長を旺盛ならしめ樹幹の充實を扶けて花辨の構成を容易ならしむる等果樹栽培上實に理想的氣候と云ふも強ち誣言にあらざるべし

次に大邱附近の地質は主に中世層に屬する板岩及砂岩の分布尤も廣く砂質もしくは礫質の土壌多し故に排水頗る佳良地味頗る豊饒にして是亦果樹の栽培に適せり己に氣候理想的にして地味亦是に適ふ結實早くして豊産併せて品質優美なる固より其所なり故に當地方に於て葡萄桃は栽培二年目林檎は三年目にして已に結實を開始するは甚だ珍らしき事實にあらす

▲果樹の種類 近年新に栽植せられたる果樹は林檎桃梨葡萄等にして總反別七十五町歩の中秤果二三町歩餘桃約十八町餘梨一二町歩餘葡萄約十町歩其他櫻桃梅李

を合して約七反歩なり萍果桃李いづれも良結果なれども就中葡萄最もよく風土に適し五年生のものにして一株より三貫目餘を得る事あるのみならず従来内地に於て絶望と認められたる歐洲種の葡萄も結實状態たる太た良好にして原産地に於て専ら温室中に栽培するブラスクホハルシの如きも露地に於て結果頗る良好なり

▲栽培法 區々にして一定せず其技術に熟達せるもの少き所以に劃然たる方式により整枝剪定整然たる園相を有するもの極めて稀なり營業者或は天然に放任するも尙且累々たる果實の枝を壓する好況に眩目し果樹に刀鋏を加はふるは徒らに勞費の損失を招くのみならず反て結果を遅延せしむるものとなし朝鮮に於ては如何なる果樹も殆んど整枝剪定の要なきもの、如く思惟する輩あるも之は思はざるの甚しきものにして少しく果樹の習性を討究し實地の經驗を重ねれば容易に自説の誤謬を發見するなるべし現に五六年前の桃樹に於て其結果部が主枝を遠さかりて枝端に移り收量減却し品質劣變するに想到せば思半に過ぐるものならん

▲其他種類の選定 肥料耕耘の注意蟲除及摘果等も用意周到の點を缺くもの少なからず要するに大邱地方

の果樹栽植は收量本位にして未だ品質本位の時期に達せざるなり是れ蓋し需用者の嗜好幼稚なるによると雖現下の狀勢より推測せば今後數年ならずして輸出の時代に到着すべきを以て今に於て整枝剪定に注意し且つ一層品質の上進を謀らざるべからず

▲産額及販路 今日結果の樹齡に達せるものは主として四十年前以前の栽植に關はれる果樹のみなるを以て産額の如きも尙未だ微々として僅に地方の需用を充すに過ぎず昨今の兩年桃梨萍果を京城釜山に輸出せしものあるも極めて僅少の量に過ぎず萍果梨の如きは尙尙供給を内地に仰ぐの域に在り何等統計のよるべきものなきを以て數量を確知する能はざるも本年の大邱(解東村を含む)及倭館に於る産額大約左の如くなるべきが

	本 年	昨 年
桃	三、三〇〇貫	三〇〇貫
萍 果	七〇〇貫	五〇〇貫
葡 萄	一、五〇〇貫
梨	一五〇貫	三五〇貫

但本年は降雨多きに過ぎたるにより桃の如きは落花多く大に收穫を減せり

慶尚北道の煙草栽培

大邱露業組合員 福地 義作

▲露栽培の起原 慶北に於ける露栽培の起りは明治三十八年でありまして煙草製造者が二三名にて僅かに五六反歩を試作したのでありました處がその成り頗る良好でありまして一反歩五六十貫目の收穫を得ました翌卅九年には本邦より農業者も續て移住して参りました露耕作者は四十餘名反別は十七町歩に増加いたしました▲葉煙草の好況 此時に當りまして専賣局にては製造業者に對し希望の原料葉煙草の拂下をせぬ事になりました爲めに三十九年産の葉煙草約八千貫目は乾燥を終ると同時に非常の高價を以て賣買が出来まして一反歩七八十圓より多きは百三十餘圓の收益を得ました▲栽培者の激増 その結果越へて四十年には一躍して耕作者七十餘人反別四十餘町歩の増加を見るに至りまして粗製亂賣に陥りはせぬかと云ふ願慮がありましたから時の農會長中原房一氏を勞はし▲大邱葉煙草販賣組合なるものを設け粗製亂賣を防ぐことにいたしました此

時代における製造業者の狀態は如何と云ふに昔前年度の原料の粗悪なりし爲め製品の不捌その他の爲め餘り振はん風でありまして年末迄に取引の行はれたものは僅に三四千貫目でありまして殘餘の一萬三四千貫目は急速に取引が行はれそうもありません止むを得ず露業者を以て小なる▲煙草製造會社 を起すの計畫をいたしました四十一年度の二月漸やく會社の創立を告げその年の六月より製造を開始し四十年産の煙草の大部分を處分することを得ました私共が會社を組織する前後に於て釜山煙草會社、大邱前の團、大石兩商會、京城廣江商會、仁川英米會社支店其他▲小製造業者が激増しました京城のみにても一時は八十ヶ所以上ありました一時は消えかゝつた煙草耕作も大に望みあることになりまして四十一年度には耕作者百餘人反別百十町歩に増加いたしました然るに露草製造業の力を見ますと皆刻煙草が主であつてその得意とする處は南海岸の漁夫でありましてその筋の手に於て本邦へ▲密輸出が目的 の様でありました處が日本官運の値上と同時に之れ等の取締が嚴重になり且世の進歩と共に刻たばこの需用は減じてまいりまして計畫を變へて卷たばこ

造を主とすることになりました加ふるに卷たばこ原料が下等品でありますから主として朝鮮人向で利益の少ない處へ賣先に於て非常の競争が起りましたのと販賣機關の完備して居らんとて▲製造業者は損失を免れなかつたのでありまして特に私共の組織したの社は其損失は一層多かつたのであります此の如き狀況でありますからまた四十二年度の葉煙草は賣行困難でありまして年末迄に若干の取引があつたのみにて耕作者は翌年の資金を得る事が出来ぬやうな有様でありました尤も此年は供給超過と云ふがでなく原料が粗悪で製造業者の希望に副はぬ點が多くありました茲にまた中原房一氏を勞はし▲大邱露耕作組合 なるものを設け巡回教師を備入れ可成反別を減じ品質を高める事を力め一方に於ては川上監督局長に嘆願し四十二年産耕作資金として渡支部より金一萬圓を借入れ之を各地作者に分つ事にいたしました故に四十二年度には耕作反別は減じて六十町歩になりました従來に聯千のみでありましたが四十二年は▲幹千の獎勵 をしました結果品質は大に改まり價格高く且賣行も宜しく従て製造業者も頗る好況でありまして當地前の團商會の鹿兒島及び

パーク大石商會製月世界の如きは朝鮮至る所非常の好況を得つ、ありますに徴しても分ります▲稀有の降雨を被りました爲め葉の成育不充分で平年の約六分作でありますけれども耕作者の技術上進と卷タバコの欠乏により昨年以上の價格を以つて最早大耕作者の分は取引が行はれかけた様な有様で▲收益八分作以上、たろうと考へます本年度の分は未だ採收干燥中でありませんが▲總收量は二萬二千貫目 の價三圓二十錢より一圓平均一圓五六十錢で總收益三萬四五千に達するであらうと思ひます僅か三四萬圓大邱の主産物として誇る程の額でありませぬけれども耕作者の大部分が僅かの資本をもつて移住し他人の土地と資本とを借入れ耕作し一箇年百圓以上七八百圓の純益を得ると地上より三四萬圓のものを産し出す農業者は朝鮮中▲大邱以外に無い亦一つは大邱産の葉タバコは他の方面に於て栽培せし物と異なり各國特有の好味を有し栽培干燥その良しきを得ば本場のものと同一であります此三つを以て大邱主産物として誇る所であります

慶北道の本國人

大邱府員 飛 舖 秀 一

發展の過去現在及將來

邦人の始めて當地方に入り來りたるは明治廿六年頃にして當時僅かに四五の小商人に過ぎざりしも明治廿七年日清戰役の際には軍隊に隨伴して渡來せる商人尠からず然れども之等の者はその軍隊の引揚げと共に退去し殘留するもの僅かに數十人となりその後數年前一進一退し未だ増加の趨勢を視るにあらざりき

由來當時の所謂日韓關係は今日の如く密接なる能はず鐵路亦未だ通せず政治上の故障と行通運輸の不便とは相俟て邦人に對する居住移轉の自由は甚だ圓滿を欠き爲めにその移住者増加の度極めて遅々たるものにして明治三十六年十月に於て在留邦人は尙五十を越ゆる幾許なる能はざりしなり今年十一月に至り日本巡查駐在所を設けられ郵便受取所を置かるゝに及び更に又明治三十七年日露の國交破れんとして今年二月一日京釜鐵道會社がその建設事務所を置き工事の竣成を急ぐに際し

爲のに多數の工夫入り込み是等勞働者々顧客とする商人の入り來れるもの頗る多し今年六月大邱に於ては日本人居留民會の組織せらるゝあり而して又變更に置かれたる駐在所の組織變更せられて警察分署となるに及び當時本邦人の在留せるもの大邱に約三千地方散在の者又二百を越ゆるに至れり然れども之れ多くは工夫及び之れに伴ふ商人に非ずんば即ち地方行商の輩にして一時寄寓者に過ぎざりしかば鐵道建設事務所の撤去せらるゝや在留人は頗る減少し十二月に至りて僅かに八百數十人となり然れども素南韓の地たる土地肥沃にして農業に適し物資豊富にして商業殷盛なるあり殊に又鐵道の開通して祖國との交通至便なるを見るに追ひ馳て又日韓協約締結せられ兩國の關係に新生面を展くに至つて農業若くは商業を目的とする邦人の渡來する者日に多きを加へ明治卅九年九月十五日大邱理學廳を全年十月廿一日郵便局を置かれ十一月一日大邱居留民團を設置し金泉、尙州、慶山、清道、永同、慶州等に於ける在留邦人相踵て日本人會を設立し教育機關としては大邱居留民團立尋常高等小學校を始めとして日本人會立小學校は各所に設けられ衛生機關として第一銀行

本邱出張所の設置せらるゝに至つて大邱及附近各地の在留民の數は再び三千五百を越ゆるに至れり客年暴徒の起るや旅團司令部を大邱に置かれ又韓國官制改正及裁判所構成法の制定の結果として大邱を中心とする行政及司法機關の設置せらるゝに追ひ南嶺地帶特に大邱附近は大に邦人の注目々惹きて在留民は益々増加し爾來秩序的に發展して本年五月末現在在邦人戸數二千八百三十八人口八千九百十七を算するに至れり之を既住に願るに理學廳設置當時に於て戸數千〇四十九人口三千二百十九なりしもの四年に滿すして人口戸數將に三倍ならんとす移住に對して特殊獎勵の途を講せずして而かも如斯なる寧ろその増加の激甚なるに驚かざるを得ずと雖も千四百七十七方里の面積と百二十萬餘の朝鮮人口とを有して農作地十五萬三千七百餘町あり開拓の餘地猶ほ甚だ廣く地味また肥沃なる事前述の如く其、棉花、菓樹等特殊産物を作るに適し黒鉛、金、鐵また頗る多くして邦人の移住を待つや洵に急なるものあるに比せばその増加の度は寧ろ遅々たるを感せずんばあらず試に邦人にして農業を營むものを算すれば全産業及副業者を併せて僅かに一百五十有餘に過ぎず邦人の

所有する耕地面積未だ八百數十町歩を越ゆる能はざるに於て農業を本位とする本道に對する邦人の事業は尙頗る微々たるものにして將來に邦人を容るゝの餘地頗る廣きを知るなり現在に於ける交通運輸には多くの不便を感せずと雖も近く大邱安東間及大邱馬山間並に太邱玄風間の道路改修せらるゝ筈なるを以てその竣成の曉に際せば眞に四通八達の便を得て天與の富源益々その光輝を發するに至るべきを信す

慶尙北道の土質と煙草

農商工部有馬裁培主任

大邱所在に附近に於ける土質は第四期礫層河成沖積地に屬し土性は砂質壤土にして排水良好なり現今當地に於ける煙草耕作は逐年膨脹發展の機運に向ひつゝありて本年度の如きは耕作反別七十餘町歩(日入耕作分)に達せしも尙ほ充分發展の餘地あれば斯業は前途有望なりと謂ふべし然るに本年は養生育の旺期に際し降雨頻繁なりしたため肥料の効驗を阻止し發育上多大の障害をうけ近年未曾有の凶作なりしも乾燥法は從年の聯

干を磨し幹干法により、もの過半以上なりし傾向あるを以て品質の改善は大に面目を改めたり、是畢竟幹干の聯干に比し價格の高價なるを聯干法の短所を自覺反省し向上心發揮したる結果なるべし要するに當地は實耕作圃地としては最適の地なりと確信す

慶尚北道の運輸交通

大邱驛長 桂 榮 三

産業の發達は交通機關の完備に依らざるべからざるは勿論にして當大邱の人士夙に茲に見るあり地官憲該官廳も亦た之に賛し政府當局も之を容れ曩に慶州に通ずる道路を改修し今又安東及玄風の二方面に達する道路改築の計畫あり而して當大邱の位置たるや東北面に二里乃至五里に亘る朝鮮としては稀に視る所の廣嶺なる平野あり、地味肥沃概して灌溉の利便あり而して水害を被ること少きを以て概ね開墾せられ殆ど荒廢の地なし西南三里にして沙門津より洛東江に依る水運の便ありて釜山に達す海岸を距ること稍遠しと雖も平坦なる道路に由り曠昔新羅の首都たりし慶州を経て迎日灣に

至る馬車の便あり釜山へ陸路二十八里京城へは七十八里の道程なるも京釜鐵道により要地間の連絡通過の利益莫大にして寔に商業上絶好の位置を自然に占得たりと斷言するに憚からず

別表本年上半期大邱驛に發着せし貨物の數量により當大邱に於ける物資集散の概況を推知し得べきも漸々土地の發展に塊れ消費力増加し就中建築用品の需用夥しく木材の如きは實に輸入總額の四分の一に當れり現今の需要を充たすは朝鮮産は新義州よりする所謂鴨綠江材にして内地産は釜山馬山より主として對州産を輸入せり其他日本雜貨は釜山、京城、仁川より大邱に輸入し陶器は凡て九州地方より食料品、和洋、雜貨、吳服物、紙、金物類は大坂以西各産地より直輸入するもの少からず而も當地需要品の大部は大坂製品にして一部の全地以東の製品と雖も大坂貨物に對する鐵道運賃特約割引の關係上凡て全地を經由するを常とす朝鮮人向乾魚、明太魚、海草は釜山馬山より、鹽は平澤、龜浦、仁川より朝鮮人間の取引により又鏡、紡績糸、木櫛、染料、化粧品、釜その他金屬器類の大坂製品は同地より最も需用の大なる糖麥粉は下關より石

油、燐寸は釜山より何れも本邦商人を經由輸入す附近各郡に産出する農産物は主要なる輸出品にして市場に於て蒐集するか又は朝鮮人を使役し各地方より直接吸收す、米、麥、大豆その他雜穀は從來鐵道運賃の關係上釜山を徑て内地に向けしむ今や釜山下關間運賃低減の結果近接煙草着地に輸出するに至りり尙水同清鐵道沿線各驛に日用品その他諸雜貨を供給各地の發展に連れ漸次輸出増加の狀態に在り

大邱驛着貨物數量表

(明治四十三年一月乃至六月)

米	四六三	酒類	二三七	鮮魚	一三七
麥	七	鹽油	五九	鹽魚	四二二
大豆	四	味噌	二〇	明太魚	七七五
雜穀	二一	食料品	一一〇	海草	六二
穀粉	七八	野菜	四四	鹽	九九八
砂糖	一四七	生果	六七	寬	一一二
藥品	八三	薪	二四四	肥料	一一
金巾	一一八	木炭	五二二	牛皮	一一

大邱葉煙草累年價格表

(單位一貫匁)

年 度	最 高	最 低	平 均
三十九年	二圓十錢	八錢	一圓五十錢
四十年	一圓九十五錢	七十錢	一圓廿五錢
四十一年	一圓八十錢	四十五錢	一圓〇五錢
四十二年	二圓七十錢	八十錢	一圓卅五錢

本年度の價格は稀有の高直にして畑地の債買買するの盛況なり而して最高三圓中等二圓四五十錢なり尙ほ手入中に係るを以て統計を得難し

●大邱葉煙草累年收量表

耕作年度	耕作別	一反歩の收量	平均
三十九年	十七町	八十五貫	三十五貫
四十年	四十町	八十五貫	三十貫
四十一年	百十町	八十貫	二十五貫
四十二年	六十町	八十三貫	三十貫
			四十一貫

●大邱發着鐵道哩數賃金表

着驛	哩數	二等賃金	三等賃金
釜山	七七、六	三、八五	二、二〇
草梁	七六、六	三、八二	二、一八
釜山嶺	七四、八	三、七三	二、一三
三浪津	四七、一	二、五二	一、四四
密陽	三九、二	二、一〇	一、二〇
清道	三一、六	一、六八	九六
慶山	二四、八	一、三二	七五
新洞	一〇、〇	五三	三〇
倭館	一〇、八	五八	三三
		九〇	五一

着驛	哩數	二等賃金	三等賃金
若木	二二、三	一、二六	六六
金鳥山	二七、四	一、四七	八四
金泉	三四、四	二、〇〇	一、一四
大田	九二、八	四、五二	二、五八
龍山	一九四、七	八、二一	四、六五
南大門	一九六、七	八、二五	四、六九
西大門	一九七、三	八、二五	四、七一
仁川	二一〇、四	八、六一	四、九二
開城	二四一、二	九、四二	五、三八
平壤	三五六、七	一一、九四	六、八二
新義州	五〇四、四	一四、五三	八、三〇
馬山	七二、一	三、六四	二、〇八

輸出品鑑定價格標準表 (釜山稅關現行)

上白米	四四七、〇〇	五味子	六四〇、〇〇
中白米	四、四〇〇	紫根	一〇、〇〇〇
玄米	四、一〇〇	半夏	一一、〇〇〇
糯中白米	四、七〇〇	黃芽	六、〇〇〇
糯玄米	四、四〇〇	白朮	七、〇〇〇
粉白米	三、九〇〇	牡丹皮	七、〇〇〇

●大邱各地間水陸里程運賃表

自沙門津至勿禁	水路廿八里	穀物一俵賃金六十錢
同至龜浦	同 三十里	同 六十錢
同至釜山	同 卅八里	同 七十錢
右は大邱より陸路三里にして沙門津沙門津より洛東江により物資を沿岸及釜山へ上下輸送の便あり		
大邱、玄風間	六里	
河陽間	四里	荷馬車一臺一圓八十錢
永川間	八里	同三圓五十錢馬車賃八十錢
慶州間	十六里	同八圓 同 二圓
迎日灣	廿二里	
安東間	廿五里	道路險惡にして辛ふじて駄馬を通ずるに足る然るに同地方は通じて農産物に豊み大邱と經濟上密接の關係を有するにより近く軍威義城を経て同處に通ずる道路改築の計畫あり國庫の補助と地方費を以て本年より起工せり目下の運賃は以上の不便なるが爲め非常の一賃を要し駄馬一頭の運賃約三十貫目三圓五十錢乃至四圓にして昨四十二年冬期米日下落の

粉玄米	海參(下)	小豆	大豆	最上	上	中	下	大麥	荏子	荏子	胡麻	綠豆	蕎麥	粟	牛骨	干鰯	煉大豆	肥料大豆	榨粕	粉粕
一、六〇〇	一八、〇〇〇	三、六〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇	八、五〇〇	六、五〇〇	五、〇〇〇	二、四〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、七〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	四、四〇〇	一、三〇〇	三、二〇〇	〇、五〇〇	一、三〇〇	三、五〇〇	一、〇〇〇
海參(上)	大豆	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨	鯨
二五、〇〇	四、〇〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

備考 生牛を除くの外総て單位は百斤とす

漆谷	二、五〇〇	全	江景	二、〇〇〇
水原	二、〇〇〇	一	方面	二、〇〇〇
龍山	二、〇〇〇	一	全州	二、〇〇〇
鳳山	二、〇〇〇	一	方面	二、〇〇〇
戰車	二、〇〇〇	八	東津	一、五〇〇
信川	二、〇〇〇	九	江全	一、五〇〇

◎大邱各種勞務銀調査表(四十三年八月末)

▲大工 一圓四十錢 ▲左官 一圓四十錢 ▲石工 一圓七十錢 ▲石細工 一圓六十錢 ▲表具師 一圓二十錢 ▲煉瓦工 一圓六十錢 ▲塗刺 一圓二十錢 ▲土工 一圓 ▲桶職 一圓三十錢 ▲鍛冶職 一圓四十錢 ▲ペンキ職 一圓三十錢 ▲ブリキ職 一圓三十錢 ▲人夫日人 八十錢 鮮人三十錢

國有土地調査狀況

土地調査局設置以來當慶尙北道は最先に着手せられ土地臺帳の調製近きに在り然れども未だ其詳細を知ら能はず故に姑く全國一般の狀況を掲ぐ
 慶屯土其他舊各宮庄土等の國有地は降臨二年度以來度支那に於て管理することとなりたるが其土地の所在面

積等不正確なりしを以て昨年より實地調査に着手し本年八月三十一日を以て全く終了を告ぐるに至れり今其調査に係る概要を聞くに國有地面積は十一萬四千三百五十五町歩にして右の外東拓會社に出資せし二千四百三十六町歩並びに同社に貸貸せしもの七千四百八十五町歩あり尙ほ火田及び係争地にして實査を見合せたるもの若干あり而して從來の國有地面積十一萬三千七百七十九町歩に對比し一割八分即ち一萬八千六百六十一町歩の増加を示せり増加の原因は一に隠土の發見に基づくものなりと又其地目別は左の如し

田	四萬五千七百町歩
水	四萬四千六百十九町歩
宅	三千七百七十七町歩
其	二萬八千五百五十七町歩
筆	五十六萬二千四百四十一筆
小作人員	二十八萬四千二百二十八名
小作一人當筆	約二筆弱
小作人面積	四反七歩

◎大邱官公吏會社社長姓名表

▲朝鮮派遣隊司令部 司令官陸軍少將渡邊水哉 高級副官歩兵少佐梅田岩樹 ▲第二聯隊 隊長歩兵大佐三輪光儀 ▲大邱憲兵隊 隊長憲兵中佐石井權藏 ▲大邱守備隊 隊長歩兵大尉日野紹 ▲大邱憲兵分隊 隊長憲兵大尉鈴木武臣 ▲大邱警察署 署長安藤正次郎 ▲大邱控訴院 院長土井庸太郎 檢事長黒川穰 ▲大邱地方裁判所 所長松下直美 檢事正北村五七郎 ▲大邱區裁判所 監督判事田中芳春 ▲慶尙北道 長官李珍鎬 內務部長事務官齋藤禮二 財務部長事務官佐々木正太 警務部長(憲兵隊長)石井權藏 ▲大邱府 府尹竹崎六三郎 ▲大邱居留民間 民間長渡邊村男 ▲大邱商業會議所 會頭岩瀬靜 書記長小宮彦次 ▲物業總務場出張所 所長三浦直太郎 ▲官立大邱慈惠醫院 院長陸軍三等軍醫正松本繁正 ▲衛戍病院 院長三等軍醫正山田孝次 ▲土地調査局出張所所長枝田豊田四郎 ▲大邱郵便局 局長通信書記生橋米次郎 ▲大邱測候所 所長測候所技手福田覺平 ▲大邱驛 驛長鐵道書記桂榮三 ▲釜山税關出張 主任海津惟一 ▲慶尙農工銀行 支配人安川和三郎 ▲韓國總行大邱支店支店長池田嘉吉 ▲東洋拓殖株式會社大

邱出張所所長小室龍之助 ▲大邱地方金融組合 理事與田種彦 ▲大邱手形組合 組合長李錫珍 ▲大邱民團立小學校 校長千葉喜作 ▲大邱農林學校 校長三浦直次郎 ▲大邱普通學校 校長欠 ▲大邱私立協成學校 校長李宗勉 ▲全壽昌學校 校長吳聖來 ▲大邱新聞社 社長河井朝雄 ▲韓國製糖會社 社長小倉武之助 ▲大邱製粉精米株式會社 社長岩瀬靜 ▲大邱海陸物産株式會社 取締役兼支配人井上常直 ▲大邱穀物組合 組長安松熊吉 ▲大邱石油組合 組長安松熊吉

慶北の大勢

予韓國に入りて既に五年、初め馬山に在り専ら韓南海に星羅棋布せる島嶼の拓殖に目を注ぎぬ而して漸次韓内陸の狀況を視るに及び韓國の産業が萎靡廢頽して復興又は開發すべきこと多きを知り即ち林政廢れて山岳荒らし、河制定まらず江流注溢し人民稀薄にして田野拓けず、財源涸竭して産業振はざるの實況を熟視し先づ韓國の經營なるも

のは主として土地に在ることを悟れり、是に於て孤劍飄然深く内陸を跋渉し遂に尾を大邱に留めたるものは慶北地方が産業好適の地たるを確認したる爲なり、爾來思を潜めて殖産興業の策を講じ時に筆を執て吾大邱新聞に公にせり而して數年の調査と考案は其稿案數千枚に至れり乃ち之を校訂して世に弘布し大方の教を仰ぎ且韓國經營者の參考に資せんと欲して未だ人に言はず偶々本社長河井朝雄氏之を見て速に發行すべきを言ふ、恒吉旅團長亦た之を聞て其稿を見序文を作つて之を贈らる前道書記官竹内卷太郎氏は郷友なり切に上梓を勸む因て意を決して校訂一題して南韓指針と稱し當時の統監政督補子爵の覽を乞ふ、曾補子直ちに筆を揮つて「温故知新」の四字を題せらる、河井社長は専ら本社に於て印行の準備を爲せり而して時勢の推移は一刻も休止せず、今日の寧明日は既に舊となる更に明日を俟つの間に韓國は帝國の領土に入りて朝鮮の舊稱を用ふるに至れり、稿に繼ぐに稿を以てし遂に底止する所なく唯だ楮數を積みて空しく壁裡に在り

今日本社は大邱新聞附録として慶北要覽を發行せむとし社長手に關するに校閱の任を以てし且南韓指針中慶北に關する事項を採録すべきを言ふ、然れども其稿は浩潮にして小冊子に收むべくもあらず且慶北要覽には渡邊民長外各専門家の寄稿あり各方面の調査周到なり、故に予は舊稿中私見に關するもの、みを摘載して責を盡く、斷齋散漫は是が爲なり、讀者之を諒とし而して高致を給はば予の至幸とする所なり

▲慶北は地潤く移民に適せり 朝鮮十三道中常慶尙北道の地積が廣潤なることは地圖を展へて直に知るべし而も其實際は耕種すべき地の潤きこと十三道中の尤なり、大邱の野とは朝鮮古來有名のものにて其沃野の潤きを意味せる語なり

▲慶北は一般に交通運輸の便あり 朝鮮の交通運輸か不便なるは何人も之を言ふ、然れども這は文明國に比較せる不便なり、若し夫れ朝鮮のみに就て之を曰へば慶北は交通運輸の便十三道に冠たりと云ふを妨げず先づ陸路は大邱を中心として京城、釜山間の國道南北に縱貫し、西は玄風方面より馬山に達し東は慶州を経て

迎日灣及び蔚山に達す其他道下四十一郡大小の道路は八方より大邱に集中す、更に洛東江は朝鮮五大江の一にして水源を小白山に發し流域長く慶尙南北道を貫て南海に朝す、此江舟楫の便あり、鐵道開通前より慶北山間僻地の穀物が釜山に出で、輸出せらる、は之れが爲にして洛東江は人體に於ける大動脈なり往年口露戰役興りて京釜鐵道は未だ大邱に達せざる時吾陸軍は其速成を計るが爲め大邱、沙門津間三里に軍用輕便鐵道敷設し釜山より小蒸汽船を用ひて洛東江を溯り以て鐵道材料並に軍需品を輸送したり而して京釜鐵道が費用を惜まざ、軍事的施設により速成するや沙門鐵道は再び田圃に復したるも他年洛東の河身が改修せられ且邦人の繁殖に因り交通運輸の頻繁となるときは此江に煤烟を擧て瀟笛の聲を聴かんことは予の豫言に隣隣せざる所なり

▲慶北の地質は農事經營に適す 地質上より觀たる慶北は本邦と大差なし、之を證するに多言を要せし何となれば慶北の主産物が米及び麥豆類にして且養蠶が古來縷々として其命脈を維ぐに微し桑樹の栽培に適するを知るべく更に煙草栽培に最も適し棉花も亦産物た

る等其生産物を見て其地質を知るを得べし、次に氣候が耕種の得失に關するは勿論移民上氣候の關係は至大なり日清戰役が滿洲の寒野に於てせらるゝや第五師團第四師團の如き先發隊は甚しく凍傷に艱みかりき而して更替せる第二師團の如きは意外に凍傷者を出さざりき是れ廣島、阪は暖地にして奥羽一方は寒地なれば兵士の體質が耐寒の程度を殊にせるものなり慶北の氣候は三浦農林學校長の曰ふ如く茨城、栃木に匹敵するを以て日本内地の中層を得たるものにて各府縣の移民を置くも寒暑共に耐え得べき地方なり

▲慶北は行政上軍事上の樞要 京城は李朝王城の地として言ふまでもなし、釜山、元山、木浦、群山、仁川鎮南浦等に本邦人が逸早く發展せしは海港なるが爲のみ、試に開港場より二三里の内陸に入れば邦人の在住者は寥々として觀るに足らず又在住者あるも其經營は却て大邱地方に後れ居れり之に反して慶北は各郡到る處多少の邦人住まざるなし是れ大邱が行政上、軍事上の樞要なるが爲め其保護を受け易く隨て四方に發展する所以なり

▲可法上の主腦地は繁榮の素因あり 朝鮮の控訴院は

三箇所なり京城、平壤及大邱に置かる、而して大邱控

院の管轄は慶尙、全羅四道を併有せり、邦人が繁殖して人事複雑と爲るに隨ひ民刑事件は年を逐て増加すべきは言ふを俟たず、大邱に訴訟院、地方裁判所、監獄あるが爲め法官、司獄官、辯護士、代書人其他之に依て衣食する者と訴訟關係者の來り集る者の數と其消費する所は將來幾倍するや測るべからず、今試に一例を擧ぐれば予が郷國の長野縣上田町は曾て地方裁判所支部ありて僅に數郡を管轄せり而して司法經費削減の爲め其支部を廢せらる、や上田町一個年の收入は十萬圓減せりと稱せり、夫れ僅に一地方裁判所支部にして然り況や朝鮮三控訴訟院の一を有する地をや、但現在の訴訟事件少きを以て輕視すべからざるなり

▲大邱は師團設置の適地なり 朝鮮に二個師團を置くの説は近來俄かに喧傳す而も是れ俄に起り一問題に非ず、予は夙に軍事當局者に聽くに韓國派遣隊として軍隊を置きしは時局未だ定まらざるが爲にして其解決を見るに至らば師團常設は當然にして且陸軍の輿論なりと言へり、何となれば派遣隊の不經濟と不便利は何人も之を知る而して其れ以外に軍事當局者より觀れば聯

隊以上の實質を具へざれば兵士の訓練を爲し難く如何に實地の討伐に従事するも三々五々一隊を爲りて風塵を追ふが如き經驗は旅團以上の軍伍を組織する場合に何等の用々も爲さず、故に新兵を用ゐて派遣隊に使用すれば完全なる訓練を爲し得ずと云ふ、吾人門外漢たる者雖も其説を聽けば之を覺るに移易なり、其れ此の如く師團の設置は必要なり而して朝鮮の地勢上交逼上大邱に其一を置かるべきは從來討伐上の施設按排に徴しても之を知るべく縱し師團本部ならざるも旅團を置かる、如きは疑ふべくもあらず其曉に於ける大邱の發展は豈に大に期すべきものにあらずや

▲慶北は實業經營地 從來の謂ゆる韓國經營者は實業家と目すべき者少く其多くは一攫千金を望むの徒なり而も此空想者に成功多かりしは戦争の賜なり其時代に在ては徒手空拳の輩も邦人の少なきと、韓人の甚しく未開なるに乘じて奇利を博し得たり且兵馬に專して風紀品行の取締が行はれざり一爲め往々不正行爲を以て富を造りし者亦多し、然れども秩序立ちたる今日に及んで太陽一たび出で、魍魎罔兩の影を匿すが如く次で着實なる經營者を迎ふるの時代とは爲れり、而

して韓國併合の今後朝鮮の經營は國土の開発に在り而して其開發は農事經營及び之に附隨すべき養蠶、殖林等を主とす、然れども地方により實業經營が絶望なる處あり、地質、氣候、交通、運輸が天然に經營に適せざる地は如何に廣漠にして人民稀薄なるも移住者を收容するに適せざるなり而して慶北が移民に適し且各種實業の經營に適することは本書に掲ぐる諸家の説を参照せば自ら昭々たらん、予は今ま蛇足を加へず諸家の説かざる所を擇て私見を陳べんと欲す

▲移住の最好時機 朝鮮に本邦人を移住せしむる必要は今更に言ふを以るす本邦人一般に認る所なり而して既に移住策を講ずる爲め幾多内地有力者が大邱に集まるに徴しても如何に其氣運が其機に到れるかを察すべし殊に東洋拓殖株式會社は法律の命する所、定款の規定する所に則り大に移民を保護奨励して拓殖の實を舉げんとす、而して會社が執る所の方針は緊要を要せずして何人も知る處なれば予は茲に移住を勸むる意見を披瀝すべし

●移住者は中農たるべし 移民と云へば直に細民貧民を聯想せしめ又細貧民に非れば容易に故郷を離れ得ざ

るは日本人の習性にて且缺點なり然れども他の富強國へ出稼を爲すと朝鮮移住とは全然其趣を異にせり這は移住者及移住奨励者に於ても豫め考慮せざるべからず何となれば賃銀の貴かき歐米の如きは身體健全にして勞力に堪ゆる者は何人も可ならざるなし、而して勞働の報酬として獲る處の賃銀多く例へばパナマ運河の土工に雇はれ一日二圓乃至三圓を得る如きことは朝鮮に於て到底望むべからず朝鮮は土地の面積に比して人口稀薄なれども又其人口に比して事業少なきが故に彼の兩班なる遊手徒貧の民を除くも之に幾倍の勞働者ありて他の雇傭を頼みとせり、彼等の中には朝食をも爲さず未明に擔負を負ふて家を出で零碎の賃錢を得て瀾離粗食に腹を充たし日晡れて家に歸る者多し甚しきは夏期に在ては樹下石上に眠りて一所不住の状態なる者尠からず是等の輩は大邱の如き都府に於ては一呼して數百人を集め得べし凡そ本邦に於て數十人の人夫を要する場合には豫め手配を爲さざるべからず、然るに朝鮮にては斯の如き便ありて隨て本邦人の勞働者を容る、の餘地に乏しきなり若し體力優れたる者が之と月徴せんとするも彼等は最高日給三十五錢乃至四十錢最低は

十錢(農隙の季節)にて勞役し而かも其勞働時間の長

きに耐るのみならず白湯一杯の給與も要せざる輕便の人夫なれば本邦人勞働者が到底伍する能はざる處なり故に朝鮮に移住せんとする者又は移住せしむるには必ず中農以上之を取らざるべからず

●予が謂ふ所の中農 單に中農と云ふも其範圍程度定まらず予が朝鮮移住に就て所謂ゆる中農とは自作の力ある者若くは小作を爲すにも渡航費及家屋農具を自辨し且家族を有し一家一年の經費を支ふるに足る者を云ふ前述の如く他人に雇傭せらるゝことは全然望みなき地なれば無資の徒は移住に適せず且家族なき者は到底農事經營を爲すべからざるは本邦内地と雖も同然なり●中農も朝鮮に來れば地主 予は好で奇矯の言を弄せず又極端の説を吐かず然れども本邦内地と朝鮮とを比較すれば「日本の自作農者が朝鮮に來れば地主たるを得べし」更に「日本の小地主 朝鮮に來れば大地主たるを得べし」并は何故か之を極て通俗平易に解説すべし日本と朝鮮と土地の直段を較べると大きな相違がある、日本では水田一反歩は安い地方でも二百圓高い地方は三百五十圓位する先づ一反歩三百圓が一般上

田を買ふとすれば上等で一反歩四十五圓だから百二十五圓が土地の代金で始めて朝鮮人から買ふには日本の町村長の様な面長とか洞長とか云ふ者の「認証」を経るので其手数料が一件五十錢、それから郡長同様な郡守か又は府尹(大邱は府尹)の「證明」を経るのである、此證明手数料は賣買價額の千分の二であるから百三十圓で五十錢である五十錢以下は五十錢)其外に測量費とか代書料とか又は地所の世話人に禮をするとしても百十圓と見れば受合である、それから家屋であるが、朝鮮は材木が高いから内地同様の家を造るは不經濟である、然し朝鮮人同様の温突でも工合が悪いと養蠶でもする時分に純粹の温突では不都合だから先づ日鮮折衷と云つた様な家を造るのである此建築費がザツト二百圓位のものを見て置いて宜しい、其處で取附く迄に費用ががかり又農業を始めて十個月位は買喰であるから此費用と種代肥料代日雇人の賃銀等で二百圓位は使つてしまふとして其差引残金が何程になるかと云ふと四百五十圓はまだ残つて居るのである、此金で來ると直ぐに同じ水田を買ふとすれば一反歩四十五圓だから一町歩

四十

水田の平均直段と見て差支なからず其所で朝鮮の水田はどの位かと云ふと、大邱は一番高い一反歩八十圓所により百圓以上もする、それでも日本に較べたなら三分の一である然し一反歩八十圓の百圓たると云ふ所は澤山にはない先づ慶尙北道を平均すると上等で水害も旱害もない所で四十圓から四十五圓位と見れば何程でも買へる、畑は日本では場所次第水田よりも高い所があるから比較を止めて假りに一反歩の水田を持つて居る農家が朝鮮へ移住するとして算盤を取つて見よう

三反歩持の者が之を九百圓に賣つて家族五人を連れて慶尙北道邊へ移住するとすれば五人の中には一人は小學生徒一人は幼稚園の一年生か又は乳呑兒と見て派車船船賃は三人半を要するのである處により旅費が違ふから餘り近くない又餘り遠くもない東京附近の積りにして旅費や荷運運賃や其他諸雜費で百圓と見れば大目である、ちよつとした農具位は其中で買へるし又農具は在來の品があるので補充する位は何でもない、それで差引八百圓は爲替で送つて置くのである、扱其八百圓で日本に持て居ただけの水

買へる、スルト日本で三反歩のお百姓は朝鮮へ來た爲に一町三反歩持の地主となつて其外に家が一つ殖か勘定である、又四百五十圓の金で一町歩の水田を買はずに朝鮮人に貸すとしても朝鮮の金利は非常に高いから利殖すると驚く程のものになる、金利のことは別項に書てあるが、高利貸と云はれぬ様に月三分位なら田舎では低利である、若し二分五厘なら殆ど半歩である、然し追々金利も下ると見て現今の半分位として二分五厘と一たらさうか、四百五十圓の月利が十一圓二十五錢だから一年には百三十五圓の利足がある、四百五十圓の金が一年に五百八十五圓になるのである、若し在來の高利貸のやうに毎月利足を取つて(普通毎月か例)行けば鼠勘定で既く程になる、しかも二分五厘位の月歩なら慈愛に富んだ金貸として尊敬されるのは勿論であるし又二分五厘位の金利なら先づ五年や十年は貸せると思ふ、イヤ是は話の序で予は金貸は勧めない、成るべく實業に資本を入れて貰いたいが得失上の勘定を言へは動かない所が斯うである

▲早き移住者は利益あり

以上陳ぶる所の如くなるが

早晚本邦人が移住するは自然の趨勢なれば苟も移住の志ある者は出来得る限り早きを要す、一日早ければ即ち一日の利あり、其所以は需用供給による經濟上の原則として朝鮮の土地價格が騰貴すべきは必然の數なればなり、現に併台後大邱附近の如きは多少の高直を含みたるにて推すも今後の騰貴は争ふべからず、然らば▲地所騰貴の程度如何、此問題は數字を以て解答し難きものなり、然れども強て予の私見を述べれば予は確信なきに非ず、現今朝鮮の耕地を買ふて小作せしむる者は約年一割以上一割三四分の利廻りを計算して購入せり而して此程度に於て實際買収し居る状態なり、故に平均一割二分は地主としての標準利率と見るも妨げなし、予は之に對して將來を思ふに遠からずして「朝鮮の土地價格は二倍すべし」現今本邦は金融緩漫にして一部の貸金利率は別とし四分利公債證書の乗替の盛況に見るも明かなり、然し緩漫は餘裕の生せしむるに非ずして事業の停滞せるが最大原因なるべきも金利の低下は明白の事實なり、更に轉じて本邦の地主か土地より受くる純益の利廻りを見れば三分乃至四分に過ぎず、即ち朝鮮の其れに比すれば殆ど四分の一なり故に

朝鮮が帝國の領土を爲り完全なる法律の保護を受け且居住の安心なる今後に於ては、其利益少なき所を移して利益多き方面に轉ずるは當然なり、其結果として予は朝鮮の土地價格が倍額に騰することは甚だ遠き將來ならざることを信せざる能はず、何となれば現時の時價が若し倍額に騰するも左の理由ありて地主の利廻りに大差を生せしめされはなり

一、種子の改良に因り増收すべく折半制は地主の收入を増す事

一、漸次灌漑排水及堤防工事行はれて増收するに至るべき事

一、道路の改修に伴ひ運賃を減し其減したる分は從來の米價を引揚ぐると同一なる事

一、併合の結果鐵道運船の運搬便利と爲り且運賃も減し自然生産物輸出を増し其價格を引上る事

一、朝鮮移住者の増加に隨ひ米穀類の消費力を加へ當然價格昇騰に向ふべき事

▲結論 叙上の外に予が陳へむと欲する所頗る多し然れども限りある紙上に擧げざる能はず、故に大畧して筆を措くこととす、之を要するに移民は刻下の急務にして

而して慶北地方が移民に好適なることは移民時機が到來せること又移住者は先登者が利益あること、中農以上の者が多數移住せんことを切に勸告す若し其れ移民後の方法に至ては慶北公共の機關たる大邱新聞の在る有り、移住者の爲に指針となり木鐸となるは本社及予が喜て之に當らんと望む所なり

正誤 四十一頁上段九行目百十圓は百五十四圓の誤植

◎大邱の人口 (居留民團役所調査)

大邱居留の朝鮮人は往時二萬人と稱せしが三四年前の調査には戸數四千餘に人口一萬八千餘人なり四十一年十一月の調査には戸數四千六百六十八戸人口一萬五千三百五十八人なり右に依れば年々減少の傾きあり然るに内地人は左の如く増加しつつあり

三十六年末	二五	七六
三十七年末	二四五	七三〇
三十八年末	五〇一	一、五〇八
三十九年末	五四〇	一、六四六
四十年末	七六一	二、六七五
四十一年全	九六五	三、五〇一

四十二年末 一、五七〇 四、九三六
四十三年九月全 五、八七七

◎大邱在留内地人府縣別表

明治四十三年七月一日現在(居留民團役所調)

府縣名	戸數	人口	男	女
府	一九九	六五〇	三三二	三一九
山	一七五	六〇一	三二六	二八五
福	一一三	三五四	一九二	一六二
岡	一〇八	三四六	一八三	一六三
廣	八八	二六三	一四〇	一二三
愛	八五	三〇七	一五九	一四八
長	七九	一九四	一一五	七九
慶	七九	一九四	一一五	七九
大	七四	二二一	一一二	八九
佐	七四	二三七	一一四	一二三
熊	五二	一七八	九六	八二
東	五二	一七七	八七	九〇
大	四九	一七五	九四	八一
島	四七	一八二	六九	五三
德	四七	一八一	一〇二	七九

四十三

府縣名	戸數	人口	男	女
府	四五	一六〇	八三	七七
靜岡	四三	一一〇	七四	四六
愛知	二九	九〇	五二	三八
新瀨	二九	六九	三六	三三
鳥取	二八	八〇	四一	三九
京都	二八	一〇六	七〇	三六
滋賀	二七	一〇八	五六	五二
兵庫	二五	八二	四五	三七
三重	二五	七八	四九	二九
香川	二四	五九	三六	二三
千葉	二四	七七	四一	三六
奈良	一九	五七	三五	二二
福井	一七	六一	三五	二六
群馬	一七	四〇	二六	一四
石川	一七	五四	二八	二六
神奈川	一六	六一	二三	二八
長野	一三	四二	二七	一五
岐阜	一三	三八	二〇	一八
宮城	一三	三七	二一	一六

府縣名	戸數	人口	男	女
府	一三	四二	二六	一六
山梨	二二	五二	二五	二七
高知	一一	四八	二〇	二八
富山	一一	三三	一六	一七
宮崎	一一	三三	一六	一七
茨城	一〇	三三	一六	一七
埼玉	一〇	三三	一六	一七
岩手	一〇	三三	一六	一七
青森	一〇	三三	一六	一七
栃木	一〇	三三	一六	一七
山形	一〇	三三	一六	一七
秋田	一〇	三三	一六	一七
沖繩	一〇	三三	一六	一七
合計	千八百〇五戸	五千七百〇二人	二九一〇	二七九二
内譯	男三千七十九人	女二千六百二十三人	一八二	一六三

◎慶尙北道戸數及人口
 (四十年三月警務顧問部調査)
 ▲戸數三十二萬八千六百七十六戸
 人口 百五十二萬三千八百三十八人
 内譯 男 八十一萬二千八百八十二人
 女 七十一萬〇九百四十八人

◎慶尙北道農業者

▲土人 二十八萬五千三百三十八戸、人口百二十一萬九千三百十三人 ▲内地人 二百三十六戸、人口五百三十八人 ▲清國人 二戸、人口六人 合計二十八萬七千七百七十六人、人口百二十一萬九千八百五十七人

◎大邱附近の煙草狀況

朝鮮煙草の産額四百五十四萬貫價格約三百七十萬圓なり。特種農産物に於ける重要のものなれども古來自用耕作の風習を存し一般に之を栽培するを以て京畿、黄海平安、江原道を除くの外集團の産地に乏しく耕作方法の如きも拙劣を極め加るに全葉喫煙の風慣なるにより製造及び加工の見るべきものなく農藝上最も指導改良を要す。四十二年度に於ける栽培者は、戸數百二十七戸、反別九十町歩、收量十七萬五千五百五十斤、上等價格一貫目一圓五十錢中等一圓下等五十錢内外なりしが如し朝鮮ハ煙草は十貫目凡そ七八圓なり而して内地人喫煙者の嗜好は臭氣少く舌當り鈍きを上等とすれども朝鮮人は香氣は兎に角舌當りの強きを好むが故に内地人が排斥する如きものを却て高價に賣買するもの、如しと云へり

慶北の蠶業

芳洲 三浦庄一郎

本篇は當道蠶業技手小賀野清藏氏に囑し數年來の統計に依りて現況を報する豫定なりしが氏は當道蠶城郡風穴工事監督を命ぜられて出張し執筆の餘閑なき旨を通じ來れり因て止を得ず予が觀たる處によりて其概況を述べ且私見を附することとせり

▲朝鮮の養蠶は昔は盛に行はれて日本も或初は朝鮮から傳へたと説く者もある、日本の養蠶業が果して朝鮮から行つたかどうだかは事新しく證議の必要はない然し朝鮮の養蠶は現今よりは昔の方が盛であつたことは疑ふべくもないのである、其れは古代の衣服と今代の衣服とを比較し、古代の方が絹布を纏ふたので分る尤も古代は柞蠶が多かつたので今も尙ほ滿洲に柞蠶が行はれて一種の輸出産物となつて居る、而も今の滿洲は朝鮮の領内で彼の遼河を境として支那と戦争をしたことは隋唐二代に涉つたのである、遼島半島の柞蠶が朝鮮一般貴紳の衣服に織られたのであるが今の朝鮮

地方。山林の濫伐をせぬ時代には樺、楡、柏も澤山有つて柞蠶飼育が自然に出来た筈であるが、つまり朝鮮の養蠶は古代が盛であつたと断定することが出来る

▲原種は三眠種 朝鮮の蠶種は三眠種である三眠種は日本にも昔はあつて改良された結果今は根絶したのである、四眠で上簇するのに三眠で上簇するから繭の粗悪なことは無論である、兩三年前農商工部が原種の改良に努めて日本種を配布し本年の如きは日本種を飼育した者が非常に激増しその結果が良好で且繭の直が倍にもなつたので蠶種改良といふ觀念は深く朝鮮養蠶家の頭に印した様である

▲桑が悪い 朝鮮では桑園として別はない、唯野生若くは畦畔や庭の隅に栽たのである、然し是は三十年も前の日本では同様の地方が澤山あつたのである、扱其桑の種類はと云ふと悉く魯桑である、而も魯桑の變質したのであるから飼料として甚だ好くない、桑の質が悪い斗りてなく栽培法を知らず投げ遣りの天然に任せ置くから到底上等の繭は出来ぬ

▲蠶室が無い 蠶室と云ふと仰山であるが日本では別に蠶室を造らなくも平生の住家が時期になれば蠶室に

利用される、隨て農家が住宅を新築するときには養蠶の便否を考へて設計するから完全な蠶室となるが朝鮮の家は一様に燕巢工の温突であるから室内が窄く天井が低く且空氣の流通が悪いから何程の飼育も出来ぬ、殊に普通の家は一棟四房(一カン二カンと呼ぶ)で一が蠶敷(中間)が板張り三が部屋で四が臺所に出来て居る其中で一と三の温突へ衣類調度は勿論粗や豆迄入れてあるから養蠶をするには中間の板の間のみである、是が廣くて九尺四方、狭いのは七尺四方位外ないから其んな處で蠶が何程買へるか殆ど話しにならない

▲器具が無い 朝鮮には從來別に蠶具らしい物が無い尤も一斗か二斗の繭を取るのだから道具も要らぬ様なもの、遣り方は實に愚の極である、温突や板間へ只平面に蠶を放してある、棚もなければ蠶箔も無い、近來は日本式を覚えて棚を造るやうになつて三四倍も餘分に飼へることを覺つた様である

▲政府の奨励 統制府の注意で前韓國農商工部も蠶業奨励には經費を惜まざ盡力したのである、當慶尙北道咸昌安東慶州善山新寧等の諸郡に在る、又道で補助し

て居るものもある、現に總督府と爲つてからも當道には二名の蠶業技手を置てある、夫が如何なる方法を取るかと云へば日本蠶種の配布、桑苗の供給、稚蠶共同飼育、巡回講話、座繰製絲の教授をして蠶種や桑苗は出來得る限り無代價配布をして居る又各傳習所は傳習生を收容して春夏秋蠶の實飼育の傍ら學理の大要を授けて居る其卒業生が郡部へ散して教員となる都合である

▲大所蠶傳習所 是朝鮮で最先の傳習所で明治三十七年に當地有志韓人の共同で創立したが現今は本邦人が加はつて經營して居る、所長は現善山郡守李鍾國氏で是は三十七年創立の前二年同長野、群馬の養蠶地に留學して當所が創立の時より所長として一昨年郡守に就任まで從事して居つた、最初新寧の郡守となり今は善山に轉したが任所には皆な蠶業傳習所を設けた熱心家である、此外に前大邱郡守金昌洙氏も養蠶を好で現に本年も公務の餘暇家族を指揮して飼育して居つた

▲慶北養蠶家 の数は何程かと聞くと戸數が一萬千七百四十戸である、朝鮮十三道の養蠶家數は六萬千四百八十戸ある、平均一道の數は四千七百三十戸當りの處へ一萬千餘戸あるのだから(尤も慶北は戸口が多いが)約

二倍半である、又桑園面積は四百四十九町九反歩と計上されて居る(前に言ふ通り完全なる桑園でないから概算と見る外はないけれども)十三道の桑園總面積は七百三十一町歩と算へられて居る、之に對して慶北は全國の半數以上を占て居る、此割合から推せば慶北の養蠶は十三道に冠たりと謂ふべきものである、然らば其收購量は何程かと見れば、驚く勿れ千〇二十石五斗……是が本年の收購高である、試に算出して見ると左の通りである

養蠶家一戸當り收購石數 八升七合強
桑園一反步當り收購石數 二斗二升強

右を本邦の養蠶家の眼から見たら殆ど玩弄的であらう一戸當りの數は兎に角一反步當りが二斗位では本邦ならば破産してしまふ、少なくとも二石から三石の收購がなければならぬ、是を見ても桑園として完成して居ないことが分る

▲養蠶の有利 在來の朝鮮養蠶は石の次第で標準にはならぬ、然らば本邦移民が將來農業の副業として養蠶が有利であるかどうかと云ふ問題は頗る緊要であるが予は朝鮮の富源は養蠶であることを斷言する、養蠶の

収益は米を除けば將來朝鮮第一の富源である、之を奨励せねば朝鮮人の購買力を増すことが出來ぬ又政治上から視ても年々歳々に増し行く政費は租税に依らねばならぬ、然るに現在の如き貧民が如何にして負擔すべきか、未の末迄本邦から金を運で政治を遣り譯にはゆかぬ、然らば富源涵養が朝鮮政治の第一急務である、其所で朝鮮の養蠶が飼育者に有利であるや否やは極めて見易い、先づ一反歩の畑を買ふとすれば日本では百五十圓乃至二百圓を要する、それが朝鮮の畑は二十圓至乃三十圓に過ぎぬ、借地料から見ても日本は上等の桑園は一坪玄米五合以上七合位の處がある、最低五合として一反歩一石五斗であるから米價平均一石十三圓と見ても十九圓五十錢である、日本の桑園小作料一個年分で朝鮮なれば上等の畑が買取れるのである、次は肥料であるが大豆の如きは朝鮮では日本の半直若くは十分の六位より高いことは無い、人糞は今の都市では無代價である、次は人賃であるが是は「慶北の大勢」の部を参照すれば朝鮮人の安いことが分るが現今日本では處により違ふけれども養蠶時期の日給は七八十錢乃至一圓に當る、先づ朝鮮人なれば約三分の一と思ふて差

支ない然し不孰練故最初は金だけの働と思へは間違はない、扱以上の如く資本に屬する分は總て安いが養蠶が果して好結果を得るかどうかと云ふのが大事である
 ▲慶北は養蠶に適す 朝鮮が養蠶に適することは各方面で證明して居るから説明の必要も無い位であるが慶北は殊に適して居る、其理由は(一)桑園適當地が多い(二)氣候が寒暑共酷しくない(三)農業地であるから養蠶材料(穀殼類)が有るのである、而して朝鮮は乾燥するから蠶に適する、春蠶は最も有望で夏秋蠶も雨期を避けて捕立れば遊蠶の憂はない、既に三四年來大邱に住む二三の米經驗者が飼育しても好成績を収めて居るので分る
 ▲朝鮮繭の特質 朝鮮産の繭は細絲に際して解符の良いのが特質である、繭の解符の良否は製絲上の得失に關するから製絲家は専ら之を吟味する、若し解符不良であれば其不其分は絲とならぬから自然繭を安く買ふことになる此點は朝鮮繭は無類の良質たることを内地製絲家が既に認めて居る
 ▲繭の處分 朝鮮で繭を取ても賣るに困る、買れなければ絲に繰らねばならぬ、其糸が賣れるかどうかとはい

大抵の人が心配する所である、予は之に就ては大體上定見がある、其れは朝鮮は或る一部の事業が又は朝鮮特殊の製造品の外は朝鮮で製造するに及はぬと云ふ意見である、元來製造業は粗より密に入るものである、先づ粗製して次に精製されるのである、精製には資本と技術及知識を要するは勿論である、朝鮮で製糸をせよとも内地の製糸家が相當に買取る、唯荷造りと運賃及朝鮮からの移出税が價格の百分の五掛るが是等は早晩全廢される、極つて居る、移入税は全然免除である

◎大邱著名營業者

貿易	高瀬 支店	材木	中西 支店	牛乳、雜貨	内田 六郎	精米	若林 誠助
全	松前 支店	旅館	吉田 佐七	穀類	金森 謙二	精米	大野登次郎
貸金	岩瀬 靜	呉服	中江富十郎	文具紙帳簿	伊藤吉三郎	牛乳、廢物	和氣平次郎
質、活版	木村竹次郎	全	尾崎 鎮雄	印刷	吉武甲子男	質、水	青木 重信
製造	韓國製造會社	料理	岡田 喜八	陶器	山口稻右衛門	藥種	町田 久春
材木	杉原 新吉	全	霜田 語吉	食糧、雜貨	金谷休次郎	雜貨	佐藤 良平
金物	宇野 嘉吉	穀物	兒玉伊太郎	醬油製造	寶城 齋	飲食	木澤辰次郎
貿易	弘野作次郎	全	安松 熊吉	運送	永井幸太郎	雜貨	内山 好亮
大邱海陸物産株式會社	吳服	上田 謙助	料理	雜貨	黒田 福松	呉服	田村 富藏
			洋器具	菓子	三野 宇一	旅館	城戸陸次郎
			料理	雜貨	堺 萬次郎	料理	明石 音吉
			陶器	雜貨	神谷 豊功	貸金、農業	中原 房一
			洋服	雜貨	前川 知二	銃砲火藥	佐藤 周藏
			雜貨	雜貨	大江林太郎	穀物	田中善次郎
			雜貨	雜貨	笠原 格市	雜貨	茂木安太郎
			雜貨	雜貨	松井市太郎	藥	中出清太郎
			金物	雜貨	三橋榮太郎	雜貨	友永 治
			料理	雜貨	勝丸 常吉	牛肉	西田光太郎
				雜貨	小林誠一郎	金物	長光 稻藏
				雜貨	柏原 谷藏	運送	古川文之助

◎大邱居留民團議員姓名表
 議長増田虎太 議員安松熊吉 界高次郎 内田六郎
 加藤一郎 木村竹太郎 齋藤芳造 黒川圓治 西澤智
 古莊幹實

◎大邱商業會議所役員姓名表
 ▲特別議員 安川和三郎 池田嘉吉 ▲議員 會頭岩
 瀨野 副會頭 安松熊吉 ▲常置委員 佐藤周藏 同
 前川知三 ▲大野峰久郎 ▲町田久吾 三橋榮太郎
 白田新助 尾崎鎮雄 向坂庄吉 古川文之助 ▲書記
 長 小宮彦次

◎大邱神社寺院教會
 ▲皇太神宮遙拜所 遠城公園 岩崎田美也
 ▲高野山派出所 元町、四 山田 政教
 ▲淨土宗布教所 御幸町 佐藤 玄性
 ▲眞宗本願寺 大和町 府川 宏哲
 ▲日蓮宗光國寺 新町 大庭 啓義
 ▲日本基督教講習所 東城町 千藤 武夫
 ▲佛蘭西基督教會 南城町
 ▲米國基督教會 市場町

◎大邱の各醫院
 ▲江崎醫院 四番町 院主江崎恒人 電話 一五番
 ▲池上醫院 大和町 全 池上四郎 全 一五九番
 ▲藤繩醫院 幸町 全 藤繩文順 全 三〇番

▲福武醫院 新町 全 福武庄藏 全 一五五番
 ▲大觀醫院 元町 全 越智高一
 ▲十字堂醫院 東城町 全 相田小八 全 二二九番
 ▲久野醫院 東城町 全 久野敏夫 全 二三四番
 ▲那須醫院 大和町 全 那須敏夫 全 二四〇番

◎大邱著名の製造所
 ▲瓦 岩瀨製造所 川谷製造所 ▲煉瓦 杉原煉瓦製造
 所 ▲蒲葦 韓國製造台資會社 ▲印刷業 大邱印刷所
 木村活版所 大邱新聞社印刷部 北島活版所 サンボ
 一商會石版部 朴泰教 ▲製粉精米 大邱精米製粉株式
 會社 若林精米場 田中精米所 大野峯次郎 ▲煙草
 前之園商會 大石商會 ▲酒類 三河屋 林甚七 瀨藤
 榮作 ▲醬油、味噌 寶城齋 中村英兵衛 ▲織物 大邱
 實業傳習所 ▲牛乳 和氣牧場 三九商會

◎大邱著名旅館
 ▲唯屋 錦町一丁目 電話四七 番
 ▲吉田第一旅館 五番町 電話四十二番
 ▲吉田第二旅館 元町二丁目 電話二百七十番
 ▲田中旅館 三番町 電話五十四番
 ▲大商館 元町一丁目 電話十八番
 ▲小山旅館 元町一丁目 電話二百六十番
 ▲立花旅館 元町二丁目 電話百三十一番

TRADE MARK
TSUJI & CO
 Import & Export of Tobacco Make
 (2-CHOME NISHIKIMACHI, TAIKO)

風味雅長にして
 火持よき高尙なる
 實用向紙巻煙草なり

賣價 金壹錢五厘

◎最善の店にて御求を乞

業 造 製 草 煙 商 入 出 輸 進
店 商 路 都 社 會 資 合
 目 丁 二 町 第 一 番
 番 八 四 三 路 橋 野 朝 番 話 電

吳服商



大邱府錦町

田村第一支店

(電話五壹番)



木田驛前

田村第二支店

會席御料理

蓄 辦 貴
食 採 品 商

和洋御料理

大邱錦町二丁目

大田榮西
一と藥磨

(電話三十五番)

大邱錦町五丁目

大田錦町五丁目
六四番

(電話六四番)

雅 眺
大 絕
和 東 本 店
和 洋 御 料 理

(電話二十七番)

食料品
諸雜貨商

大邱東本町

梯嘉平商店

(電話六四番)

慶州南門內

梯嘉平支店

大田榮町

梯與一商店

有名賣藥卸小賣

並化妝品其他

東城町

中出藥店

(電話百十九番)



當店は國屬事務の外通商銀行業務を
 確實に取扱可也

出 韓 國 銀 行

本店 京城 大邱支店

品 其 出

銀行 一 一 番

首 各 賣 藥 味 小 賣

支店 電話 一 三 七 番

穀物貿易

委託販賣商

本町二丁目

兒玉商店

電話二二六番

大邱四番町(電話十五番)

内 外 科 江崎醫院

大邱居留民團醫 醫學得業士 江崎恒人

めづらしき朝鮮土産

鶴圖 乃 箸 誌 雜 書

朝鮮風俗のさか

大邱元町二丁目

重村書店

營業品目

帽子、襟卷、婦人肩掛、靴下、手袋、足袋、仕立物、袋物、内外化粧、品硝子器、ランプ、其他和洋雜貨、一商

大邱大和町二丁目

萬 齋 藤 商店

夏秋蠶種製造

並 賣 買 紹 介

國定教科書籍學校用品一式

大邱花園町學校前

小西掛扇團

諸最良

宿新

御行

用靴



大邱警察署前

釜谷製靴店

(電話三百十番)

貴 民 業 米 畑

刑事訴訟事件及證明登記事務
限り手續一切依頼に應ず

加藤一郎法律事務所

大邱元町壹丁目

電話一壹四參番

歐米雜貨

◎流行と最新は京阪に後れず

◎確實にして親切なるは弊店の特色

大邱驛前

●●● 佐藤商店

(電話百十五番)

◎追て地方より御注文品は代金引換若くは其他の方法を以て迅速御便利に御送附可申上候

和洋紙
文房具
卸商

伊藤吉三郎商店

大邱大和町

(電話壹貳參番)

朝鮮 振替貯金
大坂 番八七八七
二七六番

かます 食鹽
魚類 鹽ふか 委託賣買
米 穀

大邱西門市場

海陸物産會社

(電話四三番)

名産類なし 平打うどん 一手製成

▲平打うどん は練り方十分故味殊に好し

▲平打うどん は奥田形にて体裁殊に好し

▲平打うどん は携帶便利にて旅行に好し

▲平打うどん は湖き故に煮え方殊に好し

▲特製片栗麵 大邱本町二丁目

▲井印うどん

製造元

今井商店

▲井印そうめん

(電話六七番)

▲精製干そば

産業組合員募集

帝國... に準據し當組合を設立し大邱府管内に於て農事の本位とする實業經營の加盟者を募る大體の目的は實業の發達を促す爲め低利なる資金を供給するに在り而して組合員たる資格は地主と小作たることを同じす希望者は郵券四錢を送れば規約書及説明書其附屬書類を贈る可し

大邱東城町三丁目

大邱産業組合創立事務所

(電話四九番)

創立委員長 三浦庄一郎



店 生
助 新 田 白

和洋酒廠

合名 本嘉商店

嘉納合名會社

加富登麥酒株式會社

帝國鑛泉株式會社

松岡酒場醸造酒

大邱元町三丁目

幸山出張店

(電話二五八番)

特約 販賣

1526

石版印刷業

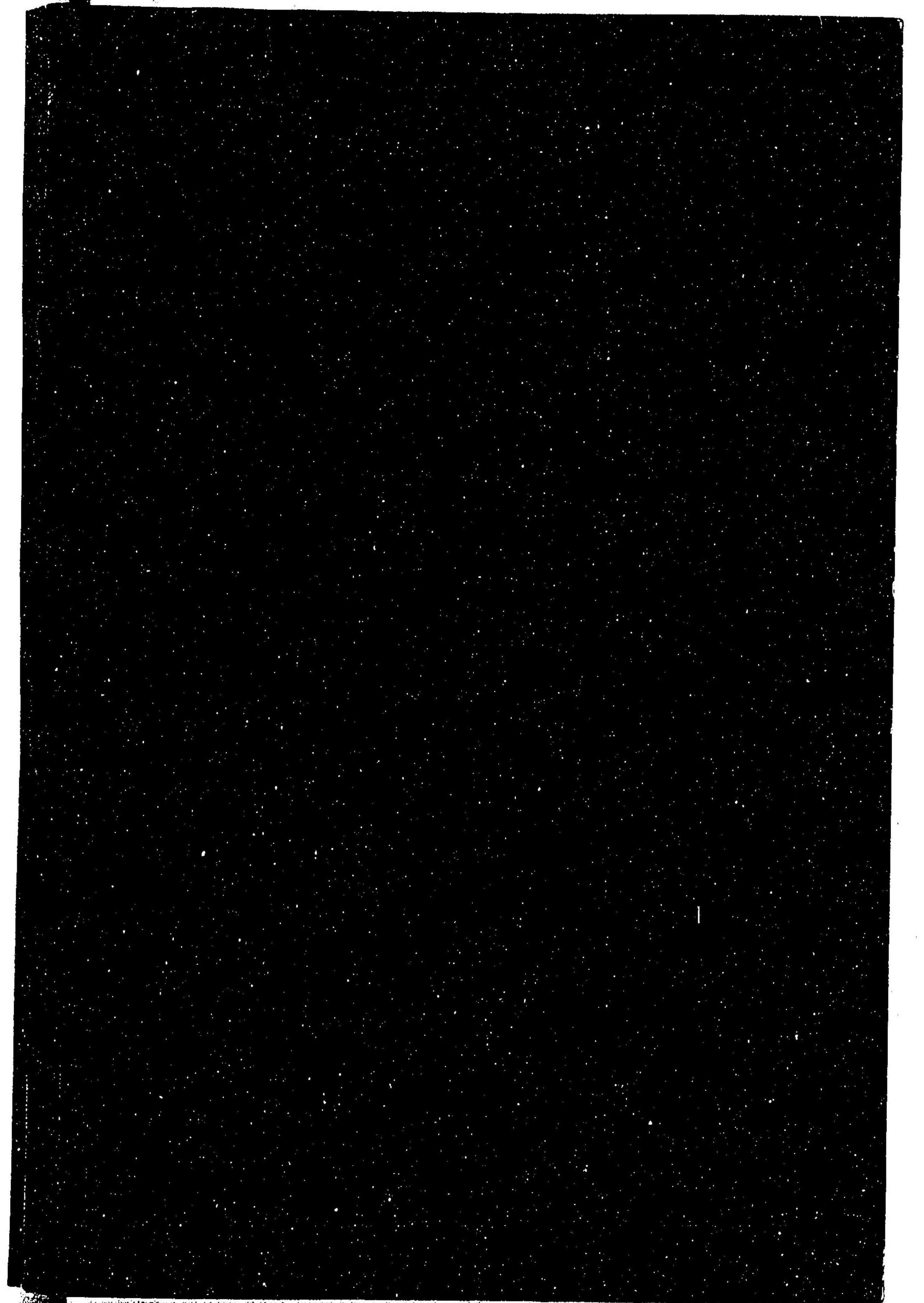
名刺 卒業證書 レッテル 諸帳簿 商標
其他印刷物一切

大邱明治町

サンポ一商會

(電話一四九番)

327
359



327
359

026400-000-1

327-359

慶北要覽

大邱新聞社 / 編

M43

ADD-0052



36.1.27